

第 1 学 年

(前期履修の選択科目シラバス)

<p><総合科学系></p> <p>社会科学</p> <ul style="list-style-type: none">★生態・医療人類学……………1- 1★憲法……………1- 2★経済学入門……………1- 3★薬害から学ぶ……………1- 4★ジェンダー論……………1- 5 <p>人文科学</p> <ul style="list-style-type: none">★哲学……………1- 6★死生観の歴史……………1- 7★文化史……………1- 8★倫理学……………1- 9★戦争と医学……………1- 10	<p>語学</p> <p>英語</p> <ul style="list-style-type: none">英語 I A……………1- 34英語 I B……………1- 35 <p>外国語</p> <ul style="list-style-type: none">★ドイツ語 I……………1- 38★フランス語 I……………1- 40★中国語 I……………1- 42
---	--

科目・コース（ユニット）名：生態・医療人類学

英語名称：Ecological and Medical Anthropology

担当責任者：立柳 聡（総合科学教育研究センター / 看護学部総合科学部門）

開講年次：1年 ， 学期：前期 ， 必修／選択：選択必修 ， 授業形態：講義・ゼミ

概要：

広くは、環境と人間・社会と文化の形成の相関について検討します。どのような生態的条件がどんな社会や文化を生み出してきたか、その背景を含めて検討します。また、逆に、人間は自分を取り巻く環境をどのように認識し、意味づけていくのか、などに主要な関心を寄せ、文化人類学、社会学の基本的な知見とこれまでの研究成果によりながら、検討してみたいと思います。

また、人間たちが種々の欲求や思いを背景に生み出す社会現象の本質は、公式のように表現することは困難です。それを扱う社会科学の醍醐味は、何らかの社会現象をめぐる多様な見方や解釈の可能性を示し、それを裏付ける主張の合理性や特色を検討することです。

こうした主要な関心に対する理解を深めたり、社会科学の醍醐味を実感していただけるように；

- ① 毎回の授業のトピックスを講じます。
- ② 折々に次の学びのステップになりそうな参考文献をご紹介します。
- ③ 授業ごとにフィードバックペーパーをまとめていただき、必要に応じたリプライを行います。
- ④ グループワークによるレポート作成に取り組んでいただきます。

学習目標：

【行動目標】

- (1) 「文化」、「社会」、「民族」、「環境」など、文化人類学、社会学の基本概念を理解できる。
- (2) 多様な文化・社会の存在と特色を理解し、尊重できる。
- (3) 人類は、諸現象のからくりを自然科学によって合理的に把握しようとする一方、観念の操作で“意味づける”ことができる生き物であることが理解できる。
- (4) 例えば、「病気」や「健康」、「障害」にも“意味づけ”が伴う場合があることを理解できる。
- (5) 自分が文化として身につけた価値観やものごとの見方を相対化して捉えることができる。
- (6) それぞれの人間の個性や価値観、見方、解釈の多様性を受け容れることができる。

コンピテンス達成レベル：

学習アウトカムと科目達成レベル表

学習アウトカム			科目達成レベル
1. プロフェッショナリズム			
医師・医学研究者をめざす者として、それにふさわしい倫理観や価値観をもった行動ができる。			
1)	倫理	① 医の倫理と生命倫理の原則を理解し、それに基づき、考え、行動できる。	△ 修得の機会があるが、単位認定に関係ない
2)	習慣・服装・品位/礼儀	① 状況に適合した、服装、衛生観念、言葉遣い、態度をとることができる。	△ 修得の機会があるが、単位認定に関係ない
		② 時間を厳守し、何事においても真摯に対応し、積極性や誠実性を示すことができる。	
		③ 自らの誤り、不適切な行為を認識し、正すことができる。	
3)	対人関係	① 他者に自分の価値観を押しつけず、その人格、貢献、時間を尊重し、常に敬意を払って接することができる。	△ 修得の機会があるが、単位認定に関係ない
4)	法令、医師会等の規範、機関規定	① 個人情報の取扱いに注意し、患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる。	△ 修得の機会があるが、単位認定に関係ない
		② 各種法令、大学を含めた諸機関の規定を遵守することができる。	

2. 生涯教育					
<p align="center">医師・医学研究者として優れた洞察力と応用力を兼ね備え、医学・医療及び関連の広い分野の科学的情報を収集・評価し、論理的思考の継続的改善を行うことができる。</p>					
3)	自己啓発と自己鍛錬	①	医学・医療の発展、人類の福祉に貢献することの重要性を理解できる。	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない
		②	独立自尊の気風を養い、自己管理・自己評価を行い、自身で責任を持って考え、行動できる。		
		③	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習（自身の疑問や知識・技能不足を認識し、自ら必要な学習）により、常に自己の向上を図ることができる。		
4. 知識とその応用					
<p align="center">基盤となる総合科学、生命科学・社会医学、臨床医学など以下の領域の知識を修得して、科学的根拠に基づき、診療や研究の実践に応用ができる。</p>					
1)	医療を実行するための知識	①	生命科学を理解するための基礎知識	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない
7. 医学/科学の発展への貢献					
<p align="center">総合科学、生命科学・社会医学、臨床医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい知見を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。</p>					
1)	科学的思考と研究	①	医学や医療の現場からリサーチ・クエスチョンを生み出す科学的思考ができる。	●	実践の基盤となる知識を示
		②	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。		

	③	未解決の臨床的・科学的問題を認識し、仮説を立て、それを解決するための方法と資源を指導・監督のもとで見いだすことができる。	せることが単位認定の要件である
	④	指導者のもと倫理的事項に配慮して、基礎的および臨床的に興味ある領域での研究の立案ができる。	

垂直的統合授業の実施内容：該当なし

水平的統合授業の実施内容：該当なし

本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容：該当なし

テキスト： 使用しません。順次、資料の配布を行います。

参考書：

授業の進行に合わせ、自修によって、さらに学びを深めていただけるように、適当と見られる参考文献等をご紹介します。本講座では、事後学習に重きがあるをご理解ください。その上で、事前学習として本講座の全体的なイメージを捉えたい方々や、医療人類学、生態人類学の世界の概要を知る手がかりを得たい方々には、以下の文献をご紹介します。

佐藤洋一郎（著）、『食の人類史』、中公新書

澤野美智子（編著）、『医療人類学を学ぶための60冊 医療を通して「当たり前」を問い直そう』、明石書店

成績評価方法：

1. グループによるレポート作成の成果を主体に、出席状況やフィードバックペーパーの内容なども踏まえ、総合的に評価します。なお、レポートの作成方法、提出方法、評価の観点などの細部は、追って、課題提示の折に改めてお知らせします。但し、レポートの再提出の機会はありません。
2. 福島県立医科大学医学部履修規定を遵守して判断します。
3. 細部は履修者が確定した後、改めて検討して周知します。

その他（メッセージ等）：

授業時間や回数が限られているため、初回から一定の授業を行います。

講演会、見学先など、学外での学びの機会についても折々にご紹介するよう心がけます。

選択科目のため、どのような顔ぶれがどれだけ履修されるのか、開講してみないとわかりません。その上で、

- ① 数十人ともなれば、自ずと講義主体の展開となりましょう。

② 例えば、数名程度の履修となれば、実質的にゼミナールとしての展開が適当と考えます。細部はその方々と相談の上、決めたいと思います。

③ 10名を超えるようであれば、講義とグループワークを併用した形などが適当かもしれません。

従って、以下に掲げる授業計画は、①、③になった場合を念頭においているとご理解願います。

授業スケジュール／担当教員等：

回	実施日	時限	項目（テーマ）	内容・トピックス等
1	4月15日（水）	Ⅲ	社会科学の世界・ガイダンス	社会科学の特色、授業方針等
2	4月22日（水）	Ⅲ	虹は何色・その1	文化人類学の特色と基本概念の紹介
3	5月13日（水）	Ⅲ	虹は何色・その2	言語相對説
4	5月20日（水）	Ⅲ	虹は何色・その3	前回の続き
5	5月27日（水）	Ⅲ	極北と密林の狩人・その1	文化人類学の環境論
6	6月 3日（水）	Ⅲ	極北と密林の狩人・その2	社会的環境論、文化の選択性
7	6月10日（水）	Ⅲ	採集狩猟民の世界	採集狩猟民の社会と文化の特色
8	6月17日（水）	Ⅲ	農耕民の世界・その1	農耕の本質、食料生産革命
9	6月24日（水）	Ⅲ	農耕民の世界・その2	農耕民の社会の特色
10	7月 1日（水）	Ⅲ	農耕民の世界・その3	農耕民の文化の特色
11	7月 8日（水）	Ⅲ	日本人の生命観・その1	魂、命、再生、無限の循環
12	7月15日（水）	Ⅱ	日本人の生命観・その2	前回の続き
13	7月15日（水）	Ⅲ	医療と文化・社会・レポート作成のためのガイダンス	病気と病、障害の本質、レポートの課題と作成要領
14	7月22日（水）	Ⅱ	入り口は室内・室外？その1	人類の思考と認識の特色をめぐる諸学説
15	7月22日（水）	Ⅲ	入り口は室内・室外？その2	前回の続き

※ 担当教員は、すべて立柳聡です。教室は、すべて6号館第1講義室です。

※ 毎回、皆さんからのご質問に最大限にお答えしたいので、そのための時間が割り込んできます。このため、少しずつ進行にズレが生じることが予想されますので、ご了承ください。調整困難な場合には、14回目と15回目の内容を精選するか割愛する方法で対応いたします。

科目・コース（ユニット）名：憲法

英語名称：Constitutional Law

担当責任者：藤野美都子 人間科学講座（生命倫理学分野）

開講年次：1年，学期：前期，必修／選択：選択，授業形態：講義

概要：

憲法は、権力担当者が権力を濫用し、人々の基本的人権を侵害することがないように権力を規制するものです。

授業では、日本国憲法を対象とし、憲法が保障する基本的人権および人権を保障するための枠組みについて学びます。具体的な事例を通して、実際に憲法が権力により遵守され、自らの人権が保障されているか否かについて、受講生が意見交換をする場を設けます。

学習目標：

- 1) 憲法が公権力を制限することにより、基本的人権を保障するものであることを理解する。
- 2) 憲法で保障されている基本的人権に関する基本的な事柄を理解する。
- 3) 基本的人権を保障するための枠組みを理解する。
- 4) 憲法が遵守され、基本的人権が保障されているか否か、自ら判断しうる力を身につける。

コンピテンス達成レベル表：

学習アウトカム			科目達成レベル		
1. プロフェッショナリズム					
医師・医学研究者をめざす者として、それにふさわしい倫理観や価値観をもった行動ができる。					
1)	倫理	①	医の倫理と生命倫理の原則を理解し、それに基づき、考え、行動できる。	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない
3)	対人関係	①	他者に自分の価値観を押しつけず、その人格、貢献、時間を尊重し、常に敬意を払って接することができる。	●	実践の基礎となる知識を示せることが単位認定の要件である
4)	法令、医師会等の規	①	個人情報の取扱いに注意し、患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる。	●	実践の基礎となる知識を示せることが単位認定の要件である

	範、機関規定	②	各種法令、大学を含めた諸機関の規定を遵守することができる。	●	実践の基礎となる知識を示せることが単位認定の要件である
2. 生涯教育					
医師・医学研究者として優れた洞察力と応用力を兼ね備え、医学・医療及び関連の広い分野の科学的情報を収集・評価し、論理的思考の継続的改善を行うことができる。					
1)	科学的情報の収集・評価・管理	①	情報を、目的に合わせて効率的に入手することができ、評価することができる科学的基礎知識を身につける。	●	実践の基礎となる知識を示せることが単位認定の要件である
		③	社会における情報倫理を理解し、遵守することができる。また、著作権に配慮できる。	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない
3)	自己啓発と自己鍛錬	①	医学・医療の発展、人類の福祉に貢献することの重要性を理解できる。	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない
3. コミュニケーション					
患者やその家族と、また医療従事者との間で、他者を理解し、互いの立場を尊重した関係を構築し、コミュニケーションをとることができる。					
1)	患者や家族に対するコミュニケーション	①	医師としてふさわしい、社会性やコミュニケーションスキルを身につける。	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない
		②	患者や患者家族の人種・民族、家庭的・社会的背景を理解して尊重することができる。	●	実践の基礎となる知識を示せることが単位認定の要件である
		③	患者の個人的心理、精神性や障害など、多様な患者特性を理解・尊重し、支持的な言動を取ることができる。	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない

垂直的統合授業の実施内容：

医療と法（4年生）・臨床倫理（4年生）

水平的統合授業の実施内容：

生命倫理（1年生）

本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容：該当なし

テキスト：指定しない。

授業の際に教材を提示し、レジュメを配布する。なお、日本国憲法の条文の入手方法について、授業の際に説明するので、日本国憲法の条文を手元において受講すること。

参考書：

芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法（第7版）』岩波書店・2019年

植野妙実子『基本に学ぶ憲法』（日本評論社・2019年）

渋谷秀樹『憲法（第3版）』有斐閣・2017年

長谷部恭男ほか編『憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ（第7版）』有斐閣・2019年

成績評価方法：

授業への参画態度（60点）および提出課題（40点）の成績により、総合的に評価する。

その他（メッセージ等）：

授業時間内に受講生による意見交換の場を設けるので、授業への積極的な参画を求めます。また、憲法を学ぶ上で、社会に関する理解は不可欠です。様々なメディアを通じて日々情報を収集し、社会に関する理解を深めることを期待します。

授業スケジュール／担当教員等：

	授業実施日	時間	場所	担当教員	授業内容
1	4月15日(水)	Ⅲ	第7講 義室	藤野	講義案内・憲法とは何か：ハンセン病問題から学ぶ
2	4月22日(水)	Ⅲ	同上	藤野	憲法の誕生：日本国憲法の制定過程
3	5月13日(水)	Ⅲ	同上	藤野	国民主権と象徴天皇制：天皇の退位・女性天皇
4	5月20日(水)	Ⅲ	同上	藤野	平和主義：安全保障関連法と日本の国際貢献
5	5月27日(水)	Ⅲ	同上	藤野	基本的人権の享有主体：外国人の人権保障
6	6月3日(水)	Ⅲ	同上	藤野	自己決定権：生殖補助医療の規制
7	6月10日(水)	Ⅲ	同上	藤野	男女平等：再婚禁止期間違憲判決と夫婦同氏合憲判決
8	6月17日(水)	Ⅲ	同上	藤野	表現の自由：ヘイトスピーチの規制
9	6月24日(水)	Ⅲ	同上	大須賀	財政：日本の財政事情
10	7月1日(水)	Ⅲ	同上	藤野	人身の自由：被疑者・被告人の権利と死刑制度
11	7月8日(水)	Ⅲ	同上	藤野	生存権：日本の貧困問題と社会保障制度

12	7月15日(水)	Ⅱ	同上	藤野	労働権：労働時間規制—医師の長時間労働と過労死問題
13	7月15日(水)	Ⅲ	同上	藤野	選挙権と選挙制度：選挙権の平等
14	7月22日(水)	Ⅱ	同上	藤野	裁判所：司法制度改革と裁判員制度
15	7月22日(水)	Ⅲ	同上	藤野	憲法改正について考える

担当教員：

大須賀健一 放射線医学県民健康管理センター 国際連携室室長

藤野美都子 人間科学講座（生命倫理学分野） 教授

科目・コース（ユニット）名：経済学入門【医学1】

英語名称：Introduction to Political Economy

担当責任者：後藤 宣代

開講年次： 1年, 開講学期：前期, 必修／選択：選択必修

授業形態：講義・グループワーク

概要：経済学は、「社会の医学」とも言われています。「社会の解剖図」を描いて、問題を発見し、カルテ（解決策）を考える学問です。21世紀のグローバルな世界と日本の問題を取り上げて、経済学の考え方（理論、歴史、政策）を学びます。

学習目標：

- ①世界の動きや人々の暮らしが、理解できるようになる。
- ②現代社会の病理現象（格差、貧困、環境破壊など）について、論理的、批判的に解説でき、自分なりの見識を持てる。
- ③社会の基礎には労働があります。その労働のなかでも医療従事者の労働はどんな性格をもつのか、例えば製造業やサービス業などと比較して、何が同じで何が違うのか、説明できる。
- ④自己の意見を他者に伝え、他者の意見を理解でき、討論することができる。
- ⑤全体として共感能力が高まり、コミュニケーション能力が発揮できる。

コンピテンス達成レベル：

学習アウトカムと科目達成レベル表

学習アウトカム			科目達成レベル		
1. プロフェッショナリズム					
医師・医学研究者をめざす者として、それにふさわしい倫理観や価値観をもった行動ができる。					
1)	倫理	①	医の倫理と生命倫理の原則を理解し、それに基づき、考え、行動できる。	△	習得の機会があるが、単位認定に関係ない
2)	習慣・服装・品位/礼儀	①	状況に適合した、服装、衛生観念、言葉遣い、態度をとることができる。	△	
		②	時間を厳守し、何事においても真摯に対応し、積極性や誠実性を示すことができる。	△	

		③	自らの誤り、不適切な行為を認識し、正すことができる。	△	
3)	対人関係	①	他者に自分の価値観を押しつけず、その人格、貢献、時間を尊重し、常に敬意を払って接することができる。	△	
4)	法令、医師会等の規範 機関規定	①	個人情報の取扱いに注意し、患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる。	△	
		②	各種法令、大学を含めた諸機関の規定を遵守することができる。	△	
		③	利益相反について説明できる。	△	
2. 生涯教育					
医師・医学研究者として優れた洞察力と応用力を兼ね備え、医学・医療及び関連の広い分野の科学的情報を収集・評価し、論理的思考の継続的改善を行うことができる。					
3)	自己啓発 と自己鍛錬	①	医学・医療の発展、人類の福祉に貢献することの重要性を理解できる。	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない
		②	独立自尊の気風を養い、自己管理・自己評価を行い、自身で責任を持って考え、行動できる。	△	
		③	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習（自身の疑問や知識・技能不足を認識し、自ら必要な学習）により、常に自己の向上を図ることができる。	△	
4. 知識とその応用					
基盤となる総合科学、生命科学・社会医学、臨床医学など以下の領域の知識を修得して、科学的根拠に基づき、診療や研究の実践に応用ができる。					
1)	医療を実行するための知識	①	生命科学を理解するための基礎知識	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない

7. 医学/科学の発展への貢献					
総合科学、生命科学・社会医学、臨床医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい知見を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。					
1)	科学的思考と研究	①	医学や医療の現場からリサーチ・クエスチョンを生み出す科学的思考ができる。	●	基礎となる知識を示せることが単位認定の要件である
		②	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。	●	
		③	未解決の臨床的・科学的問題を認識し、仮説を立て、それを解決するための方法と資源を指導・監督のもとで見いだすことができる。	●	
		④	指導者のもと倫理的事項に配慮して、基礎的および臨床的に興味ある領域での研究の立案ができる。	●	

垂直的統合授業の実施内容：該当なし

水平的統合授業の実施内容：該当なし

本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容：該当なし

テキスト：ノーベル経済学賞受賞者らによる最先端の議論と、医療従事者の働き方、この二つを通じて、現代がどんな時代かを学んでいきます。

- ① 植山直人・佐々木司『安全な医療のための「働き方改革」』岩波ブックレット、620円＋税。
- ② ポール・クルーグマン他著（大野和基インタビュー・編）『未完の資本主義—テクノロジーが変える経済の形と未来—』PHP 新書、900円＋税。

参考書：「21世紀のための経済学」を学ぶ上で、良き道案内をしてくれる本です。

- ① 森岡孝二他『いのちが危ない残業代ゼロ制度』岩波ブックレット、520円＋税。
- ② 西川潤『新・世界経済入門』（岩波新書、2014年、860円＋税）。

成績評価方法：

講義への出席、討論への参加、報告など、総合的に判定します。評価の基準は、知識・暗記ではなく、認識の深まり、経済学的思考を問うものです。

講義の前半（8回目まで）は、「経済学という社会科学メガネ」をかけることで、いままで見えなかった現代社会のしくみを学びます。おもにテキストの読み合わせをもとに思考を深めていきます。ここでは質問したり、意見を述べたり、講義に対する積極性が求められます。

後半（9回目から15回目）は、受講生によるグループ学習、討論、発表を行います。ここでは自主的学びの態度が求められます。ここでは他者の意見に耳を傾け、そのなかで自己の考え方を深めていくことが求められます。

その他（メッセージ等）：

将来、医療従事者になったとき、そして例えば、「国境なき医師団」のメンバーになったとき、地球的規模の問題（環境、貧困、人権、倫理など）について、さまざまな国・地域のさまざまな人たちと、対等平等に議論できるようになろう。

授業スケジュール／担当教員等：

場所＜6号館第1講義室＞

	授業実施日	時限	担当教員	授業内容	キーワード
1	4月16日(木)	Ⅲ	後藤 宣代	経済学への誘いⅠ	・講義の進め方 ・テキストの紹介 ・新聞記事の読み合わせ
2	4月23日(木)	Ⅲ	後藤 宣代	経済学への誘いⅡ 21世紀の新しい世界と経済学 ・テキスト2冊の「はじめに」、「プロローグ」を読み合わせして、現代社会の基本問題について考える	・人工知能（AI） ・ビッグデータ ・仮想通貨 ・バイオ・キャピタル ・GAFAG(Google, Apple, facebook, amazon) ・監視資本主義
3	4月30日(木)	Ⅲ	後藤 宣代	前半:21世紀と医療	「働き方改革」 医師の過労死
4	5月7日(木)	Ⅲ	後藤 宣代	「働き方改革」の第一人者・森岡孝二に学ぶ（DVD鑑賞）	労働、労働時間、過労死
5	5月14日(木)	Ⅲ	後藤 宣代	テキスト：『安全な医療のための「働き	（以下、テキストの各章のタイトル

				方改革』を読む 第1章	を記します) 日本の医療は安全 か—日本の医師労働 の実態と医療事故 の危険性—
6	5月21日(木)	Ⅲ	後藤 宣代	第2章	睡眠のメカニズム と過重労働の危険 性
7	5月28日(木)	Ⅲ	後藤 宣代	第3章	医師の過労死はな ぜ起きる—過重労働 と歪んだ医療政策—
8	6月4日(木)	Ⅲ	後藤 宣代	第4章	豊かな社会を目指 して—バカンスの 取れる医師、日本 へ—
9	6月11日(木)	Ⅲ	後藤 宣代	後半：21世紀・『未 完の資本主義』を読 む グループにわかれ て議論・発表 Chapter 1 ノーベル経済学賞 受賞者： ポール・クルーグマ ン	世界の知の巨人た ちが見通す、人類 の未来 (以下、テキスト の各章のタイトル を記します) 「我々は大きな分 岐点の前に立って いる—
10	6月18日(木)	Ⅲ	後藤 宣代	Chapter 2 グローバリゼーシ ョン研究の第一人 者： トーマス・フリード マン	「雇用の完新世」 が終わり「人新世」 がはじまる
11	7月2日(木)	Ⅲ	後藤 宣代	Chapter 3 気鋭の人類学者に してアクティヴィ スト：	職業の半分がなく なり、「どうでもい い仕事」が急増す る

				デヴィッド・グレーバー	
1 2	7月9日(木)	II	後藤 宣代	Chapter 4 資本主義を精神分析する： トーマス・セドラチエク	成長を追い求める 経済学が世界を破壊する
1 3	7月9日(木)	III	後藤 宣代	Chapter 5 もっとも影響力のある経済学者の一人： タイラー・コーエン	テクノロジーは働く人の格差をますます広げていく
1 4	7月16日(木)	II	後藤 宣代	Chapter 6 過労死しない働き方の処方箋をつくる： ルドガー・ブレグマン	ベーシックインカムと1日3時間労働が社会を救う
1 5	7月16日(木)	III	後藤 宣代	Chapter 7 ビッグデータ研究の第一人者： ビクター・マイヤー＝ショーンベルガー ・まとめ ・課題レポートについて	「データ資本主義」が激変させる未来

科目・コース（ユニット）名：薬害から学ぶ

英語名称：Learning from medication errors

担当責任者：藤野美都子（人間科学講座）

開講年次：1年，学期：前期，必修／選択：選択必修，授業形態：講義と演習

概要：

薬は、人の生命・健康を守るという役割を果たしています。しかしながら、過去、様々な薬害問題が発生し、生命・健康を守るはずの薬により、人々の生命・健康が侵害されてきました。

授業では、まず、「薬害を知る」ことから始めます。過去にどのような薬害が発生したのか、なぜ薬害問題が繰り返し発生するのか、という点を明らかにします。つぎに、「薬害から学ぶ」こととします。どのようにしたら薬害の発生を防ぐことができるのか考えます。薬害を身近な社会問題として理解できるよう、薬害エイズ問題を中心に、過去のテレビ番組の映像や映画等を活用します。最後に、各受講生が過去の薬害から一つを選び、情報を収集し、そこから何を学びとるべきか考え、発表する時間を設けます。

学習目標：

- 1) 過去に発生した薬害問題の経過と原因を説明できる。
- 2) 薬害を知り、薬害から学ぶことにより、薬害防止について考える態度を身につける。
- 3) 国、製薬企業、医療従事者等に課されている薬害防止の責任を理解できる。

コンピテンス達成レベル：

学習アウトカムと科目達成レベル表

学習アウトカム			科目達成レベル
1. プロフェッショナルリズム			
医師・医学研究者をめざす者として、それにふさわしい倫理観や価値観をもった行動ができる。			
1)	倫理	①	● 医の倫理と生命倫理の原則を理解し、それに基づき、考え、行動できる。 ● 実践の基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である

4)	法令、医師会等の規範、機関規定	①	個人情報の取扱いに注意し、患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる。	△	修得の機会はあるが、単位認定に関係ない
		②	各種法令、大学を含めた諸機関の規定を遵守することができる。	●	実践の基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
		③	利益相反について説明できる。	●	実践の基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
2. 生涯教育					
医師・医学研究者として優れた洞察力と応用力を兼ね備え、医学・医療及び関連の広い分野の科学的情報を収集・評価し、論理的思考の継続的改善を行うことができる。					
1)	科学的情報の収集・評価・管理	①	情報を、目的に合わせて効率的に入手することができ、評価することができる科学的基礎知識を身につける。	●	実践の基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
		③	社会における情報倫理を理解し、遵守することができる。また、著作権に配慮できる。	△	修得の機会はあるが、単位認定に関係ない
3. コミュニケーション					
患者やその家族と、また医療従事者との間で、他者を理解し、互いの立場を尊重した関係を構築し、コミュニケーションをとることができる。					
1)	患者や家族に対するコミュニケーション	①	医師としてふさわしい、社会性やコミュニケーションスキルを身につける。	△	修得の機会はあるが、単位認定に関係ない
		②	患者や患者家族の人種・民族、家庭的・社会的背景を理解して尊重することができる。	△	修得の機会はあるが、単位認定に関係ない

		③	患者の個人的心理、精神性や障害など、多様な患者特性を理解・尊重し、支持的な言動を取ることができる。	△	修得の機会はあるが、単位認定に関係ない
		⑤	社会的に問題となる患者との関係に遭遇した場合は、それを認識し、相談し、解決策や予防策を立てることができる。	△	修得の機会はあるが、単位認定に関係ない
7. 医学/科学の発展への貢献					
総合科学、生命科学・社会医学、臨床医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい知見を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。					
1)	科学的思考と研究	①	医学や医療の現場からリサーチ・クエスチョンを生み出す科学的思考ができる。	△	修得の機会はあるが、単位認定に関係ない
		②	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。	△	修得の機会はあるが、単位認定に関係ない

垂直的統合授業の実施内容：

医療と社会（4年生）、医療と法（4年生）

水平的統合授業の実施内容：

生命倫理（1年生）

本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容： 該当なし

テキスト：指定しない

参考書：以下の参考書は、人間科学講座に所蔵しています。貸し出しに応じます。

- ・医薬品医療機器レギュラとリーサイエンス財団編『知っておきたい薬害の教訓－再発防止を願う被害者からの声－』（薬事日報社・2012年）
- ・医薬品医療機器レギュラとリーサイエンス財団編『知っておきたい薬害訴訟の実際－企業リスクの最小化を目指して－』（薬事日報社・2016年）
- ・郡司篤晃『安全という幻想』（聖学院大学出版会・2015年）
- ・鈴木利廣ほか編『医薬品の安全性と法』（エイデル研究所・2015年）

- ・永山淳哉『薬害エイズ事件の真相』（緑風出版・2017年）
- ・武藤春光ほか編著『阿部英医師「薬害エイズ」事件の真実』（現代人文社・2008年）

成績評価方法：

授業への参画態度（40点）、提出課題（20点）、報告（40点）により、総合的に評価する。

その他（メッセージ等）：

講生が「自ら考える」ことを基本とし、授業時間内に受講生による意見交換の場を設けるので、授業への積極的な参画を求めます。また、薬害について学ぶためには、社会に関する理解が不可欠です。受講生が、様々なメディアを通じて日々情報を収集し、社会に関する理解を深めることを期待します。

授業スケジュール／担当教員等：

	授業実施日	時間	場所	担当教員	授業内容
1	4月16日(木)	Ⅲ	第一ゼミ ナール	藤野	講義案内・薬害とは何か
2	4月23日(木)	Ⅲ	同上	藤野	過去の薬害問題(1): サリドマイド事件、スモン事件、クロロキン事件など
3	4月30日(木)	Ⅲ	同上	藤野	過去の薬害問題(2): ソリブジン事件、薬害ヤコブ事件、薬害C型肝炎事件、薬害B型肝炎事件など
4	5月7日(木)	Ⅲ	同上	藤野	薬害エイズ: 薬害エイズ事件の経緯・日本のエイズパニック問題
5	5月14日(木)	Ⅲ	同上	藤野	薬害エイズ問題と裁判所(1): 薬害エイズ民事裁判の展開
6	5月21日(木)	Ⅲ	同上	藤野	薬害エイズ問題と裁判所(2): 薬害エイズ刑事裁判の展開
7	5月28日(木)	Ⅲ	同上	藤野	薬害エイズ問題と国会: 国会による原因究明、エイズ予防法から感染症予防法へ
8	6月4日(木)	Ⅲ	同上	藤野	医薬品医療機器等法: 薬害事件の教訓と医薬品等に関する法的規制
9	5月11日(木)	Ⅲ	同上	藤野	受講生による発表(1)
10	6月18日(木)	Ⅲ	同上	藤野	受講生による発表(2)
11	7月2日(木)	Ⅲ	同上	秋野	薬事行政について学ぶ
12	7月9日(木)	Ⅱ	同上	藤野	受講生による発表(3)
13	7月9日(木)	Ⅲ	同上	藤野	受講生による発表(4)
14	7月16日(木)	Ⅱ	同上	藤野	薬害問題と製薬企業: 薬害救済問題と企業の社会的

					責任
15	7月16日(木)	Ⅲ	同上	藤野	薬害防止に向けて:薬害問題と医療従事者の責任

担当者：

秋野公造 参議院議員 厚生労働省健康局疾病対策課課長補佐・医薬食品局血液対策課課長補佐・東京空港 検疫所 支所長を歴任

藤野美都子 人間科学講座（生命倫理学分野） 教授

科目・コース（ユニット）名：人文・社会科学（ジェンダー論）

英語名称：Gender Studies

担当責任者：前川 直哉

開講年次：1年 ， 学期：前期 ， 必修／選択：選択必修， 授業形態：講義

概要：

ジェンダー／セクシュアリティ研究とは、「性」をめぐる様々な事柄（性別、性差、性欲、性行為など）について、自然科学ではなく社会科学の側からアプローチする学問分野である。本講義では、医療者として習得すべきジェンダー／セクシュアリティ研究の知見について解説する。授業は前半を二瓶由美子が、後半を前川直哉が担当し、就労・ケア・暴力・性自認と性的指向・性的マイノリティの困難などのテーマを取り上げ、現在の日本をジェンダー／セクシュアリティの視点から多角的に分析する。

学習目標：

- ①近代家族と女性の就労について基本知識を習得し、性別を問わず誰もが自分らしい人生を送れる社会をつくるために自分たちに何ができるかを考えることができる。
- ②ジェンダー非対称構造による女性の性被害の現実について知り、性の自己決定権・性的自由などの考え方がなぜ必要不可欠なのかについて説明できるようになる。
- ③性自認および性的指向（SOGI）と日本における性的マイノリティをとりまく現状について学び、その知識を医療者としてまた一人の社会人としての行動に繋げることができる。

コンピテンス達成レベル：

学習アウトカムと科目達成レベル表

学習アウトカム				科目達成レベル
1. プロフェッショナリズム				
医師・医学研究者をめざす者として、それにふさわしい倫理観や価値観をもった行動ができる。				
2)	習慣・ 服装・ 品位/礼 儀	②	時間を厳守し、何事においても真摯に対応し、積極性や誠実性を示すことができる。	△
		③	自らの誤り、不適切な行為を認識し、正すことができる。	△
3)	対人関係	①	他者に自分の価値観を押しつけず、その人格、貢献、時間を尊重し、常に敬意を払って接することができる。	△

3. コミュニケーション					
患者やその家族と、また医療従事者との間で、他者を理解し、互いの立場を尊重した関係を構築し、コミュニケーションをとることができる。					
1)	患者や家族に対するコミュニケーション	②	患者や患者家族の人種・民族、家庭的・社会的背景を理解して尊重することができる。	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない
4. 知識とその応用					
基盤となる総合科学、生命科学・社会医学、臨床医学など以下の領域の知識を修得して、科学的根拠に基づき、診療や研究の実践に応用ができる。					
1)	医療を実行するための知識 (※②～⑩はコアカリキュラム参照)	①	生命科学を理解するための基礎知識	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない
7. 医学/科学の発展への貢献					
総合科学、生命科学・社会医学、臨床医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい知見を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。					
1)	科学的思考と研究	①	医学や医療の現場からリサーチ・クエストを生み出す科学的思考ができる。	●	実践の基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である

垂直的統合授業の実施内容：該当なし

水平的統合授業の実施内容：該当なし

本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容：該当なし

テキスト：なし。毎回の授業時にレジュメを配布する。

参考書：

- ・男女共同参画統計研究会編『男女共同参画統計データブック 2015：日本の女性と男性』（ぎょうせい、2015年）
- ・角田由紀子『性と法律——変わったこと、変えたいこと』（岩波新書、2013年）
- ・浅倉むつ子他『導入対話による ジェンダー法学』（不磨書房 2003年）
- ・ラディカ・クマラスワミ『女性に対する暴力をめぐる10年』（明石書店 2003年）
- ・小林美佳『性犯罪被害にあうということ』（朝日文庫 2011年）
- ・『現代思想 第46巻第11号』（青土社 2018年7月1日発行）
- ・石田仁『はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで』（ナツメ社、2019年）
- ・森山至貴『LGBTを読みとく：クィア・スタディーズ入門』（ちくま新書、2017年）
- ・前川直哉『男の絆：明治の学生からボーイズ・ラブまで』（筑摩書房、2011年）
- ・前川直哉『〈男性同性愛者〉の社会史：アイデンティティの受容／クローゼットへの解放』（作品社、2017年）

成績評価方法：

成績評価は ①出席状況 ②授業への参加状況 ③授業内の小テスト・課題 ④期末試験に基づき行う。出席状況または授業への参加状況が著しく悪い場合は期末試験の受験を認めない場合がある。

その他（メッセージ等）：

授業スケジュール／担当教員等：

	授業実施日	時限	場所	担当教員	授業内容
1	4/16	3	第5講義室	二瓶	ジェンダーとは何か
2	4/23	3	第5講義室	二瓶	近代家族と性別役割分業観
3	4/30	3	第5講義室	二瓶	女性労働者の抱える困難Ⅰ（就労・退職）
4	5/7	3	第5講義室	二瓶	女性労働者の抱える困難Ⅱ（ハラスメント）
5	5/14	3	第5講義室	二瓶	男女雇用機会均等法と女性活躍推進法
6	5/21	3	第5講義室	二瓶	女性への暴力とジェンダー
7	5/28	3	第5講義室	二瓶	性暴力をめぐる現状（刑法改正をめぐって）
8	6/4	3	第5講義室	前川	男性ホモソーシャル社会：労働とケア
9	6/11	3	第5講義室	前川	男性学とCSMM（男性〔性〕批判研究）
10	6/18	3	第5講義室	前川	性自認と性的指向
11	7/2	3	第5講義室	前川	同性愛と同性婚
12	7/9	2	第5講義室	前川	トランスジェンダーと性同一性障害

13	7/9	3	第5講義室	前川	性的マイノリティが直面する困難
14	7/16	2	第5講義室	前川	医療と性的マイノリティ
15	7/16	3	第5講義室	前川	まとめと振り返り

※学生の理解状況等に応じ、スケジュールを一部変更する場合がある。

担当教員

- ・前川直哉 福島大学 教育推進機構 特任准教授
- ・二瓶由美子 桜の聖母短期大学元教授、福島大学非常勤講師、福島銀行社外取締役

科目・コース（ユニット）名：哲学

英語名称：Philosophy

担当責任者：福田俊章

開講年次：1年次，学期：前期，必修／選択：選択必修，授業形態：講義、討論

概要：

1. 人間は人間であるかぎり誰でも、考えることをやめない。そして、哲学するとは「みずからよく考える」ことに外ならない。「哲学への最良の入門は自分で問題を立てること、自分でその問題を考えることだ」と言われるのも、そのためである。この授業では、そうした営みの実例に触れることで、各人が「みずからよく考える」ようになることを目指したい。

2. 「人間は理性的動物である」（アリストテレス）というよく知られた人間の定義は、そもそも「人間はロゴスをそなえた動物である」ということを意味する。「人間は存在の理法（ロゴス）を把握する理性——この能力もまた、ロゴスと呼ばれた——をそなえた唯一の動物だ」というのである。そして、哲学は伝統的にこのロゴスをロゴスそのものとして捉えようとする営みとして、あらゆるロゴ斯的営み（＝学）の中でも最上の営みなのだとされて来た。

今日、もはやこうした「万学の女王としての哲学」などという観念が通用するとは思えない。しかし、ロゴ斯的探求がもっとも自覚的に行なわれた時代の思索を顧みることには、なおも意味があるだろう。というのも、哲学の守護聖人とも呼ぶべきソクラテスの「知らないということを知っていること（無知の自覚）こそ最上の知である」という洞察は哲学的探求のみならず、一般に人間が行うあらゆる知的探求の核心をついているように思われるからである。

この授業では、西欧の哲学について様々な時代の哲学者がそれぞれの流儀で探求した課題を紹介するとともに、受講生が自ら問題を考える機会を提供することを目指す。

学習目標：

【一般目標】

「いい哲学者になるためにたった一つ必要なのは、驚くという才能だ」（『ソフィーの世界』）と言われるのはどうしてか。「哲学を馬鹿にすることこそ、真に哲学することである」（パスカル）、
「人は決して哲学を教わることが出来ず、ただか哲学するのを学ぶことが出来るだけである」（カント）とはどういう意味か。こうした問題意識に触れることによって、哲学的な思索態度を身につける。

【行動目標】

1 ヨーロッパ古代の哲学——この世界はいったい何で出来ているのか

(1) 「哲学は古代ギリシアの自然哲学者たちによる自然探求の思索から生まれた」とされるのはどういうことかが言える。

(2) ソクラテスの言う「知らないということを知っていること（無知の知）こそ最上の知であ

る」とはどのようなことが言える。

(3) プラトンのイデア論とはどのような考えなのかが言える。

(4) アリストテレスによるイデア論批判がどのようなものだったかが言える。

2 ヨーロッパ中世の哲学——人間と神とはいかなる関係に立つのか

(1) 「ヘレニズムとヘブライズムがヨーロッパ思想の根本だ」とされるのはどのようなことが言える。

(2) ヨーロッパ中世の哲学が何を目指していたのかが言える。

(3) 「理解せんがために我信ず」(アンセルムス)とはどのようなことが言える。

3 ヨーロッパ近代の哲学——我々人間は何を知ることが出来るのか

(1) デカルトの「我思う、故に我あり」がどうして近代哲学の出発点とされるのが判る。

(2) いわゆる大陸「合理論」と英国「経験論」との対立が何に由来するのかが判る。

(3) カントの「我々の認識は経験と共に始まるが、経験にもとづいて生じるのではない」という主張の意味が判る。

4 現代哲学の諸問題

(1) 人間の心と身体はどのような関係になっているのか(心身問題)をめぐって様々な解答があることが判る。

(2) 「私は私である」とはどのようなことか(人格の同一性)をめぐって様々な解答があることが判る。

(3) 科学的な知識が客観的な妥当性をもつのはどうしてなのか(科学の科学性)について考えることが出来る。

5 神の存在証明の問題——人間はどうやって神の存在を証明しようとして来たか

(1) 様々な神の存在証明には、それぞれいかなる難点があるのか言える。

(2) 神の存在証明は我々人間にとっていかなる意味があるのか考えられる。

6 総じて、こうしたことを知っただけでは「哲学」したことにはならないと知る。

コンピテンス達成レベル：

学習アウトカムと科目達成レベル表

学習アウトカム			科目達成レベル	
1. プロフェッショナリズム				
医師・医学研究者をめざす者として、それにふさわしい倫理観や価値観をもった行動ができる。				
1)	倫理	①	医の倫理と生命倫理の原則を理解し、それに基づき、考え、行動できる。	△

2)	習慣・服装・品位/礼儀	①	状況に適合した、服装、衛生観念、言葉遣い、態度をとることができる。	●	
		②	時間を厳守し、何事においても真摯に対応し、積極性や誠実性を示すことができる。	●	
		③	自らの誤り、不適切な行為を認識し、正すことができる。	△	
3)	対人関係	①	他者に自分の価値観を押しつけず、その人格、貢献、時間を尊重し、常に敬意を払って接することができる。	●	
2. 生涯教育					
医師・医学研究者として優れた洞察力と応用力を兼ね備え、医学・医療及び関連の広い分野の科学的情報を収集・評価し、論理的思考の継続的改善を行うことができる。					
3)	自己啓発と自己鍛錬	①	医学・医療の発展、人類の福祉に貢献することの重要性を理解できる。	△	
		②	独立自尊の気風を養い、自己管理・自己評価を行い、自身で責任を持って考え、行動できる。	●	
		③	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習(自身の疑問や知識・技能不足を認識し、自ら必要な学習)により、常に自己の向上を図ることができる。	△	
3. コミュニケーション					
患者やその家族と、また医療従事者との間で、他者を理解し、互いの立場を尊重した関係を構築し、コミュニケーションをとることができる。					
1)	患者や家族に対するコミュニケーション	①	医師としてふさわしい、社会性やコミュニケーションスキルを身につける。	△	
		②	患者や患者家族の人種・民族、家庭的・社会的背景を理解して尊重することができる。	△	
7. 医学/科学の発展への貢献					

総合科学、生命科学・社会医学、臨床医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい知見を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。					
1)	科学的思考と研究	①	医学や医療の現場からリサーチ・クエスチョンを生み出す科学的思考ができる。	△	
		②	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。	△	
		③	未解決の臨床的・科学的問題を認識し、仮説を立て、それを解決するための方法と資源を指導・監督のもとで見いだすことができる。	△	
		④	指導者のもと倫理的事項に配慮して、基礎的および臨床的に興味ある領域での研究の立案ができる。	△	
4. 知識とその応用					
基盤となる総合科学、生命科学・社会医学、臨床医学など以下の領域の知識を修得して、科学的根拠に基づき、診療や研究の実践に応用ができる。					
1)	医療を実行するための知識 (※②～⑩はコアカリキュラム参照)	①	生命科学を理解するための基礎知識	△	
		⑥	人の心理と行動、コミュニケーション	△	
		⑩	疫学と予防、人の死に関する法	△	

垂直的統合授業の実施内容：

「臨床倫理」（４年次）。応用哲学とも呼ぶべき「倫理学」及び「生命倫理」（１年次）を介して、「臨床倫理」と連携している。

水平的統合授業の実施内容：

「倫理学」（１年次）。理論哲学たる「哲学」と実践哲学たる「倫理学」とは表裏の関係にある。「倫理学」は「生命倫理」（１年次）、さらには上記「臨床倫理」（４年次）と連携している。

本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容：

該当なし

テキスト：特定のテキストは用いないが、随時資料を配付する（配付資料については、各回の授業の最後に次回分を配付して事前学習に資することとしたい）。

参考書：

木田 元『反哲学史』講談社学術文庫、2000年

麻生博之・城戸 淳編『哲学の問題群 もういちど考えて見ること』ナカニシヤ出版、2006年

その他の参考に文献については随時紹介に努めたい。

成績評価方法：授業への参画態度（原則として3分の2以上の出席）に加えて、レポートあるいは論述式の筆記試験を学期末に課すこととしたい。

その他（メッセージ等）：自分の頭でものを考える機会と考えて御参加ください。授業時間が60分と短い分、むしろ学生の皆さん自身に考えてもらう機会を増やしたいと思っています。

授業スケジュール／担当教員等：

	授業実施日	時限	場所	担当教員	授業内容
1	4 / 15	3	5講	福田俊章	導入 「知を愛する」こと、ロゴスの探求としての哲学
2	4 / 22	3	5講	福田俊章	古代ギリシアの自然哲学 存在と生成変化、水は水のまま水以外のものになる？
3	5 / 13	3	5講	福田俊章	ソクラテス 「無知の知」、「知らない」ということをどうして知っているのか？
4	5 / 20	3	5講	福田俊章	プラトン アイデア論、ただちょっと「忘れていた」だけ？
5	5 / 27	3	5講	福田俊章	アリストテレス アイデア論批判 梅は梅らしく、桜は桜らしく？
6	6 / 3	3	5講	福田俊章	ヘレニズム 幸福とは「不幸でない」ことか？
7	6 / 10	3	5講	福田俊章	「理解せんがために我信ず」とは？
8	6 / 17	3	5講	福田俊章	近代哲学の幕開け 人権思想と近代的自然科学とに通底するものは？
9	6 / 24	3	5講	福田俊章	デカルト 「我思う、故に我あり」、私に心はあるのか？
10	7 / 1	3	5講	福田俊章	大陸「合理論」と英国「経験論」 我々人間の知識は何に由来するのか？

11	7 / 8	3	5講	福田俊章	カント 「我々の認識は経験と共に始まるが、経験にもとづいて生じるのではない」？
12	7 / 15	3	5講	福田俊章	心身問題 相互作用説と随伴現象説、テレパシーは心の存在を証するか？
13	7 / 15	3	5講	福田俊章	人格の同一性 身体説と記憶説 記憶と身体どちらが入れ替わったのか？
14	7 / 22	2	5講	福田俊章	科学の科学性 検証と反証、反証不可能な主張は科学的か？
15	7 / 22	3	5講	福田俊章	神の存在証明 完全無欠な存在者は必ず存在するか？

科目・コース（ユニット）名：死生観の歴史【医学1】

英語名称：History of views on life and death

担当責任者：末永恵子

開講年次：1年，学期：前期，必修／選択：選択必修，授業形態：講義

概要：少子超高齢社会を迎えた日本では、いままでになかった勢いで、女性・男性観、家族観、職業観、宗教観などが変化しています。何か確固とした理想的な生き方といったものは見つけにくくなってきました。そのようななかで、人間の生や死についての関心はとて高まっています。

死生観とは、人間の生と死をどのように把握し、どのようにこの問題と向き合うかといった考察です。古今東西の宗教や思想家がこの問題についてさまざまな考察を行いました。この授業では、そのような死生観をふりかえり、さまざまな角度からこのテーマについて考えます。生と死に向き合う医療・看護領域の営みにも参考になる授業を目指しています。

学習目標：

【一般目標】 古今東西の宗教や思想の死生観を把握するとともに、その死生観の社会的歴史的背景についても理解し、さらに現代の「生と死」の問題とも関連させて考察する態度を身につける。

【行動目標】

- 1 各宗教および思想家の死生観を文献資料や映像から把握することができる。
- 2 伝統的死生観と現代人の死についての意識とを比較し、論じることができる。
- 3 死生観の考察を通して、自己の死生観を育むことができる。

コンピテンス達成レベル：

学習アウトカムと科目達成レベル表

学習アウトカム			科目達成レベル	
1. プロフェッショナリズム				
医師・医学研究者をめざす者として、それにふさわしい倫理観や価値観をもった行動ができる。				
1)	倫理	① 医の倫理と生命倫理の原則を理解し、それに基づき、考え、行動できる。	△	習得の機会があるが、単位認定には関係ない。
	2)	習慣・服装・品位/礼儀	① 状況に適合した、服装、衛生観念、言葉遣い、態度をとることができる。	
② 時間を厳守し、何事においても真摯に対応し、積極性や誠実性を示すことができる。			△	

		③	自らの誤り、不適切な行為を認識し、正すことができる。	△	
3)	対人関係	①	他者に自分の価値観を押しつけず、その人格、貢献、時間を尊重し、常に敬意を払って接することができる。	△	
2. 生涯教育					
医師・医学研究者として優れた洞察力と応用力を兼ね備え、医学・医療及び関連の広い分野の科学的情報を収集・評価し、論理的思考の継続的改善を行うことができる。					
1)	科学的情報の収集・評価・管理	①	情報を、目的に合わせて効率的に入手することができ、評価することができる科学的基礎知識を身につける。	△	習得の機会があるが、単位認定には関係ない。
		②	入手した情報を統計学的手法を適用して評価し、適切な方法で使用し、論文作成・研究実施の基礎となる、症例提示やレポート作成ができる。	△	
		③	社会における情報倫理を理解し、遵守することができる。また、著作権に配慮できる。	△	

垂直的統合授業の実施内容：該当なし

水平的統合授業の実施内容：該当なし

本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容：該当なし

テキスト：授業時に配布する。

参考書：以下を参考書とする。

- 1, 島藺進ほか『死生学』1～5 東京大学出版会、2008年
- 2, 立川昭二『日本人の死生観』筑摩書房、1998年
- 3, 波平恵美子『日本人の死のかたち』朝日新聞社、2004年
- 4, 佐藤弘夫『死者の花嫁 葬送と追想の列島史』幻戯書房、2015年
- 5, 金菱清(ゼミナール)編『呼び覚まされる霊性の震災学——3・11 生と死のはざままで』新曜社、2016年

成績評価方法：授業への参画態度、ミニレポート、課題レポートの内容を総合し、成績を決定する。

その他(メッセージ等)：死生観は生きていく間に他者(死者と生者)との関係をどのように構築していくかという課題を問いかけます。自分はどのように他者とつながるのか、大きな問いをもちつつ、異文化理解を重ねてまいりましょう。授業が積極的な議論の場となるこ

とを願っています。

授業スケジュール／担当教員等：

	授業実施日	時限	場所	担当教員	授業内容
1	4月16日 (木)	Ⅲ	1ゼミ	末永恵子(人間科学講座 〈生命倫理学〉)	導入 討論方法・レポート作成方法
2	4月23日 (木)	Ⅲ	1ゼミ	末永恵子(人間科学講座 〈生命倫理学〉)	喪と追悼、死者と生者、葬送の 意義
3	4月30日 (木)	Ⅲ	1ゼミ	末永恵子(人間科学講座 〈生命倫理学〉)	死者とのつながり、看取り、悲嘆
4	5月7日 (木)	Ⅲ	1ゼミ	末永恵子(人間科学講座 〈生命倫理学〉)	異文化としての死生観 チベット仏教(1)
5	5月14日 (木)	Ⅲ	1ゼミ	末永恵子(人間科学講座 〈生命倫理学〉)	異文化としての死生観 チベット仏教(2)
6	5月21日 (木)	Ⅲ	1ゼミ	末永恵子(人間科学講座 〈生命倫理学〉)	死生観と宗教1 仏教(1) 原始仏教、輪廻転生
7	5月28日 (木)	Ⅲ	1ゼミ	末永恵子(人間科学講座 〈生命倫理学〉)	死生観と宗教2 仏教(2) 日本への定着
8	6月4日 (木)	Ⅲ	1ゼミ	末永恵子(人間科学講座 〈生命倫理学〉)	死生観と宗教3 儒教(道教) 沈黙の宗教
9	6月11日 (木)	Ⅲ	1ゼミ	末永恵子(人間科学講座 〈生命倫理学〉)	死生観と宗教4 神道 魂の行方
10	6月18日 (木)	Ⅲ	1ゼミ	末永恵子(人間科学講座 〈生命倫理学〉)	死生観と宗教5 死生観と国家
11	7月2日 (木)	Ⅲ	1ゼミ	末永恵子(人間科学講座 〈生命倫理学〉)	死生観と宗教6 キリスト教 (1) 旧約聖書
12	7月9日 (木)	Ⅱ	1ゼミ	末永恵子(人間科学講座 〈生命倫理学〉)	死生観と宗教7 キリスト教 (2) 新約聖書
13	7月9日 (木)	Ⅲ	1ゼミ	末永恵子(人間科学講座 〈生命倫理学〉)	死生観と宗教8 イスラム教 基礎知識
14	7月16日 (木)	Ⅱ	1ゼミ	末永恵子(人間科学講座 〈生命倫理学〉)	死生観と宗教9 イスラム教 クルアーンの中の天国と地獄
15	7月16日 (木)	Ⅲ	1ゼミ	末永恵子(人間科学講座 〈生命倫理学〉)	総括

科目・コース（ユニット）名：文化史【医学1】

英語名称：Cultural History

担当責任者：松岡 祐也

開講年次：1年，学期：前期，必修／選択：選択必修，授業形態：講義・野外実習

概要：

日本は自然的・地理的条件のために、歴史上多くの自然災害を経験してきました。災害の経験は様々な知恵や教訓として蓄積され、私たちの思考や生活文化に影響を与えています。近年では、各地でそのような過去の知恵や教訓から学ぼうという動きも見られます。

この授業では、特に現代に通じる科学知識が入る以前の時代の人々が、自然災害をどのように捉え表現し、文化に影響を及ぼしたのかについて考えてみたいと思います。また、地方によって異なる自然災害の文化的影響を、福島を事例に考えてみようと思います。

学習目標：

- ・科学的知識の有無による自然災害認識の違いを理解する。
- ・現代社会のことを理解するために、歴史を通じて考える力を身につける。
- ・日本文化の特徴を、自然条件や地理的条件という観点から説明できる。
- ・現代の様々な活動や考え方への、自然災害による影響について説明できる。
- ・自然災害がもたらした地域文化への影響について、福島を事例として説明できる。

コンピテンス達成レベル：

学習アウトカムと科目達成レベル表

学習アウトカム			科目達成レベル		
1. プロフェッショナリズム					
医師・医学研究者をめざす者として、それにふさわしい倫理観や価値観をもった行動ができる。					
2)	習慣・服装・品位/礼儀	①	状況に適合した、服装、衛生観念、言葉遣い、態度をとることができる。	△	取得の機会はあるが、単位認定に関係ない。
		②	時間を厳守し、何事においても真摯に対応し、積極性や誠実性を示すことができる。	△	
		③	自らの誤り、不適切な行為を認識し、正すことができる。	△	
3)	対人関係	①	他者に自分の価値観を押しつけず、その人格、貢献、時間を尊重し、常に敬意を払って接することができる。	△	

2. 生涯教育					
医師・医学研究者として優れた洞察力と応用力を兼ね備え、医学・医療及び関連の広い分野の科学的情報を収集・評価し、論理的思考の継続的改善を行うことができる。					
1)	科学的情報の収集・評価・管理	①	情報を、目的に合わせて効率的に入手することができ、評価することができる科学的基礎知識を身につける。	●	実践の基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
		②	入手した情報を統計学的手法を適用して評価し、適切な方法で使用し、論文作成・研究実施の基礎となる、症例提示やレポート作成ができる。	△	修得の機会はあるが、単位認定に関係ない。
		③	社会における情報倫理を理解し、遵守することができる。また、著作権に配慮できる。	△	
3)	自己啓発と自己鍛錬	③	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習（自身の疑問や知識・技能不足を認識し、自ら必要な学習）により、常に自己の向上を図ることができる。	△	

垂直的統合授業の実施内容：該当なし

水平的統合授業の実施内容：該当なし

本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容：該当なし

テキスト：指定しない。授業時にレジュメを配布する。

参考書：テーマごとに授業時間内に紹介するが、特に以下のものを参考書とする。

- ・北原系子編『日本災害史』（吉川弘文館、2006年）
- ・安田政彦編『生活と文化の歴史学 8 自然災害と疾病』（竹林舎、2017年）

成績評価方法：授業への出席・参加態度および最終レポートにより、総合的に評価する。

- ・授業への出席・参加態度：授業を受ける態度や、授業の最後に提出を求めるコメントペーパーにより評価する。
- ・最終レポート：学習目標の達成度合いに基づき評価を行う。
- ・現地見学を欠席した場合には、別途レポートを課すが、理由なく欠席した場合にはレポートを提出しても成績評価の対象とはしない。

その他（メッセージ等）：6月27日（土）に福島県内にある文化財の現地見学を行います。見学場所は別途通知します。なお、どうしても現地見学を欠席しなければならない理由がある場合は、事前に申し出てください。

授業スケジュール／担当教員等：

	授業実施日	時限	場所	担当教員	授業内容
1	4/15	3	4号館2ゼミ	松岡祐也	ガイダンス(文化史とは)
2	4/22	3	4号館2ゼミ	松岡祐也	日本人の災害認識(方丈記の災害表現)
3	5/13	3	4号館2ゼミ	松岡祐也	日本人の災害認識(鴨長明と寺田寅彦)
4	5/20	3	4号館2ゼミ	松岡祐也	災害の表象(地震鯨)
5	5/27	3	4号館2ゼミ	松岡祐也	災害の表象(疫病神・疫鬼)
6	6/3	3	4号館2ゼミ	松岡祐也	災害の表象(生活文化への影響)
7	6/10	3	4号館2ゼミ	松岡祐也	災害の伝達・伝承(災害絵図・瓦版)
8	6/17	3	4号館2ゼミ	松岡祐也	災害の伝達・伝承(供養碑・伝承碑)
9	6/24	3	4号館2ゼミ	松岡祐也	福島の歴史災害と文化(事前学習)
10~ 15	6/27	終日	※別途通知	松岡祐也	福島の歴史災害と文化(現地見学) ※詳細は別途通知

【担当教員】松岡祐也／非常勤講師／宮城県公文書館公文書等専門調査委員

科目・コース（ユニット）名：倫理学

英語名称：Ethics

担当責任者：福田俊章

開講年次：1年次，学期：前期，必修／選択：選択必修，授業形態：講義、討論

概要：

1. 古来、「いかに生きるべきか」という道德の問いは人間の最も基本的な関心事のひとつであった。倫理学はこの問いを哲学的な議論の土俵で取り扱おうとする。確かに道德の問題に出来合いの答はないにしても、しかし人間なら誰もがこの問いを我が身のこととして考える。この授業では、各人がみずから主体的に道德上の問題を考えるにあたって、その公共的な基盤となるべきものを提供したいと考えている。人はお互いに議論の土俵を共有し合いつつ、それぞれの思索を深めて行くべきものだからである。

2. 「人間は政治的な動物 (political animal) である」(アリストテレス) という有名な言葉は、そもそも「人間はポリス (polis 都市国家) に生きる動物である」ということを意味していた。人間は共同体を作り、社会に生きる動物である。倫理学 (ethics) という学問もまた、本来はそうした社会に生きる人間の住み習わし方 (êthos) についての学であった。この授業では、人間と社会との関わりの中で生じる様々な倫理的諸問題を取り扱いながら、西欧の倫理学が道德的規範の本質についてどのように考えて来たのかを共に考えたい。

学習目標：

【一般目標】

道德的問題について、人はしばしば自分なりの直観的解答をもっている。だが、その答を当然視しているだけでは、未だ道德について考えていることにはならない。「どうして自分はそう思うのか」という理由 (根拠) をはっきりさせようとする中で、「自分の頭で考える」ことが始まる。倫理学とは、こうした日常的な道德的観念に対する批判的反省である。「当たり前だと思うことを考え直す」という問題意識に触れることによって、倫理的な思索態度を身につけたい。

【行動目標】

1 倫理理論の二類型——規範と価値

(1) 善意からする嘘をめぐる様々な見解がありえ、かつそれが時に根本的な立場の相違にもとづいていることに気づける。

(2) 倫理理論を類型化すれば、例えばどんな分類があるのか言える。

2 義務論的な倫理学——カント倫理学

(1) カントが何をもちて道德的行為の特質とみなしたか言える。

(2) 規則の普遍化可能性が行為の道德的評価基準としてどこまで有効か考えられる。

(3) カント倫理学において幸福の問題が最終的にいかなる形で処理されているか言える。

3 帰結（結果）主義的な倫理学——功利主義

- (1)功利主義の基本的主張が何であるか言える。
- (2)ベンサムやミルがいかなる問題意識から功利主義を立てたのか言える。
- (3)行為／規則功利主義の区別が説明できる。

- (4)功利主義にも様々な問題点が潜んでいることが判る。

4 社会倫理の基底

- (1)正義の中核的観念が何であるか言える。
- (2)社会契約の核心的主張が何であるか言える。

- (4)人間が社会を組織して生きることの意味について、自分なりに考えられる。

5 環境倫理の基礎

- (1)環境倫理の特質が何であるか言える。
- (2)「環境倫理3つの柱」とは何のことか言える。
- (3)地球温暖化の問題がどういう問題か言える。
- (4)保全主義、保存主義、そして「里山の環境倫理」とはどういう考えか言える。

6 総じて、こうしたことを知っただけでは倫理的に高潔な人間になれるわけではないことが判る。

コンピテンス達成レベル：

学習アウトカムと科目達成レベル表

学習アウトカム			科目達成レベル		
1. プロフェッショナリズム					
医師・医学研究者をめざす者として、それにふさわしい倫理観や価値観をもった行動ができる。					
1)	倫理	①	医の倫理と生命倫理の原則を理解し、それに基づき、考え、行動できる。	●	
2)	習慣・服装・品位/ 礼儀	①	状況に適合した、服装、衛生観念、言葉遣い、態度をとることができる。	●	
		②	時間を厳守し、何事においても真摯に対応し、積極性や誠実性を示すことができる。	●	

		③	自らの誤り、不適切な行為を認識し、正すことができる。	△	
3)	対人関係	①	他者に自分の価値観を押しつけず、その人格、貢献、時間を尊重し、常に敬意を払って接することができる。	●	
4)	法令、医師会等の規範、機関規定	①	個人情報の取扱いに注意し、患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる。	●	
		②	各種法令、大学を含めた諸機関の規定を遵守することができる。	△	
		③	利益相反について説明できる。	△	
2. 生涯教育					
医師・医学研究者として優れた洞察力と応用力を兼ね備え、医学・医療及び関連の広い分野の科学的情報を収集・評価し、論理的思考の継続的改善を行うことができる。					
1)	科学的情報の収集・評価・管理	③	社会における情報倫理を理解し、遵守することができる。また、著作権に配慮できる。	△	
		①	医学・医療の発展、人類の福祉に貢献することの重要性を理解できる。	△	
3)	自己啓発と自己鍛錬	②	独立自尊の気風を養い、自己管理・自己評価を行い、自身で責任を持って考え、行動できる。	●	
		③	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習（自身の疑問や知識・技能不足を認識し、自ら必要な学習）により、常に自己の向上を図ることができる。	△	
4. 知識とその応用					
基盤となる総合科学、生命科学・社会医学、臨床医学など以下の領域の知識を修得して、科学的根拠に基づき、診療や研究の実践に応用ができる。					

1)	医療を実行するための知識 (※②～⑩はコアカリキュラム参照)	⑥ 人の心理と行動、コミュニケーション	△	
7. 医学/科学の発展への貢献				
総合科学、生命科学・社会医学、臨床医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい知見を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。				
1)	科学的思考と研究	① 医学や医療の現場からリサーチ・クエスチョンを生み出す科学的思考ができる。	△	
		② 医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。	△	
		③ 未解決の臨床的・科学的問題を認識し、仮説を立て、それを解決するための方法と資源を指導・監督のもとで見いだすことができる。	△	
		④ 指導者のもと倫理的事項に配慮して、基礎的および臨床的に興味ある領域での研究の立案ができる。	△	

垂直的統合授業の実施内容：

「臨床倫理」（4年次）。「倫理学」（1年次）では一般倫理学、「生命倫理」（1年次）では医療者に必ずしも特化しない生命と医療の倫理学を論じた上で、「臨床倫理」（4年次）では医療者に特化した生命と医療の倫理学を考える。

水平的統合授業の実施内容：

「生命倫理」。一般倫理学たる「倫理学」に対して、それを踏まえて「生命倫理」は応用倫理という性格づけがなされうる。

「哲学」。実践哲学たる「倫理学」と理論哲学たる「哲学」とは表裏の関係にある。

本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容：

該当なし

テキスト：

特定の教科書は用いないが、随時資料を配付する（配布資料については、各回の授業の最後に次回分を配付して事前学習に資することとしたい）。

参考書：

篠澤和久・馬淵浩二編『倫理学の地図』ナカニシヤ出版、2010年

バッジーニ、フォスル／長滝、廣瀬（訳）『倫理学の道具箱』共立出版、2012年

その他の参考文献については随時紹介に努めたい。

成績評価方法：

授業への参画態度（原則としての3分の2の出席）に加えて、レポートあるいは論述式の筆記試験を学期末に課すこととしたい。

その他（メッセージ等）：

自分の頭でものを考える機会と考えて御参加ください。授業時間が60分と短い分、むしろ学生の皆さん自身に考えてもらう機会を増やしたいと思っています。

授業スケジュール／担当教員等：

	授業実施日	時限	場所	担当教員	授業内容
1	4／16	3	8講	福田俊章	導入 日常道徳と倫理学、常識と反省
2	4／23	3	8講	福田俊章	倫理理論の二類型 善意からする嘘、規範と価値
3	4／30	3	8講	福田俊章	カントの倫理学(1) 幸福が道徳の原理にならないとされる理由
4	5／7	3	8講	福田俊章	カントの倫理学(2) 規則の普遍化可能性と義務の特定
5	5／14	3	8講	福田俊章	カントの倫理学(3) 人間の価値、最高善と正義の実現
6	5／21	3	8講	福田俊章	功利主義の倫理学(1) その概略、利己主義と功利主義
7	5／28	3	8講	福田俊章	功利主義の倫理学(2) 功利主義の思想家たち（ベンサム、J. S. ミル）
8	6／4	3	8講	福田俊章	功利主義の倫理学(3) 行為／規則功利主義、功利主義の正当化
9	6／11	3	8講	福田俊章	功利主義の倫理学(4) 功利主義の問題点（正義の保証不可能性ほか）

10	6 / 18	3	8講	福田俊章	功利主義の倫理学(5) 功利主義の問題点(続)(人間的側面の軽視ほか)
11	7 / 2	3	8講	福田俊章	社会倫理の基底(1) 等しさの実現としての正義
12	7 / 9	2	8講	福田俊章	社会倫理の基底(2) 正義は利益を保証するのか(正義と利益、自然法)
13	7 / 9	3	8講	福田俊章	社会倫理の基底(3) 社会契約と国家(ホッブズとロック)
14	7 / 16	2	8講	福田俊章	環境倫理(1) 環境倫理とは何か(自然と人間、環境倫理3つの柱)
15	7 / 16	3	8講	福田俊章	環境倫理(2) 環境倫理の実際(地球温暖化と環境倫理、里山の環境倫理)

科目・コース（ユニット）名：戦争と医学【医学1】

英語名称：War and medicine

担当責任者：末永恵子

開講年次：1年，学期：前期，必修／選択：選択必修，授業形態：講義

概要：

医学・医療と戦争には、どのような関係があるのでしょうか。とっさに頭に浮かぶのは、傷病兵の治療・看護や被災地への救援ですが、果たしてそれだけでしょうか。

この授業は、医学・医療と戦争との多面的な関係を、アジア太平洋戦争の歴史を通して考察するものです。大雑把に言うと、医学・医療の使命は人命を守ることであり、他方、戦争は人命を奪う結果をもたらすものです。医学・医療界が戦争に肯定的となり、医学・医療技術が戦争に奉仕する手段となったら、本来の使命は崩壊することになるでしょう。

アジア太平洋戦争期の医学者・医療従事者がたどった道はどのようなものだったのでしょうか。また、その時期の患者はどのような待遇を受けたのでしょうか。このような問題について受講者の皆さんとの議論を交えながら考察してみたいと思います。

学習目標：

【一般目標】 アジア太平洋戦争期における医学・医療と戦争の関係を歴史的に考察し、その問題点について学ぶことにより、現在の医学・医療のあり方に関わらせて考察する態度を身につける。

【行動目標】

- 1 文献史料・画像・統計資料からアジア太平洋戦争期の医学・医療と戦争とに関連する史実を確認することができる。
- 2 史実に基づいて自分なりの評価を加えることができる。
- 3 自分なりに得られた歴史像をふまえて現在の問題を論じることができる。

コンピテンス達成レベル：

学習アウトカムと科目達成レベル表

学習アウトカム				科目達成レベル	
1. プロフェッショナリズム					
医師・医学研究者をめざす者として、それにふさわしい倫理観や価値観をもった行動ができる。					
1)	倫理	①	医の倫理と生命倫理の原則を理解し、それに基づき、考え、行動できる。	△	習得の機会が

2)	習慣・服装・品位/礼儀	①	状況に適合した、服装、衛生観念、言葉遣い、態度をとることができる。	△	あるが、単位認定には関係ない。
		②	時間を厳守し、何事においても真摯に対応し、積極性や誠実性を示すことができる。	△	
		③	自らの誤り、不適切な行為を認識し、正すことができる。	△	
3)	対人関係	①	他者に自分の価値観を押しつけず、その人格、貢献、時間を尊重し、常に敬意を払って接することができる。	△	
2. 生涯教育					
医師・医学研究者として優れた洞察力と応用力を兼ね備え、医学・医療及び関連の広い分野の科学的情報を収集・評価し、論理的思考の継続的改善を行うことができる。					
1)	科学的情報の収集・評価・管理	①	情報を、目的に合わせて効率的に入手することができ、評価することができる科学的基礎知識を身につける。	△	習得の機会があるが、単位認定には関係ない。
		②	入手した情報を統計学的手法を適用して評価し、適切な方法で使用し、論文作成・研究実施の基礎となる、症例提示やレポート作成ができる。	△	
		③	社会における情報倫理を理解し、遵守することができる。また、著作権に配慮できる。	△	

垂直的統合授業の実施内容：該当なし

水平的統合授業の実施内容：該当なし

本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容：該当なし

テキスト：授業時に配布する。

参考書：以下を参考書とする

- 1, 常石敬一著『731部隊—生物兵器犯罪の真実—』（講談社学術新書、1995年）
- 2, 筋 昭三著『戦争と医療—医師たちの十五年戦争』（かもがわ出版、2000年）
- 3, 藤野 豊著『「いのち」の近代史』（かもがわ出版、2001年）
- 4, 末永恵子著『戦時医学の実態』（樹花舎、2005年）

成績評価方法：授業への参画態度およびミニレポートと、最終レポートによって成績を決定する。

その他（メッセージ等）：歴史は暗記科目ではありませんので、受験勉強のように年号を暗記するなどの取り組みは必要ではありません。歴史を考えることは現在を考えることでもあります。問題関心を持って過去の事実に向き合い、未来を考える糧にしましょう。

授業スケジュール／担当教員等：

	授業実施日	時限	場所	担当教員	授業内容
1	4月15日 (水)	Ⅲ	7講	末永恵子（人間科学講座 〈生命倫理学〉）	導入 討論方法・レポート作成方法
2	4月22日 (水)	Ⅲ	7講	末永恵子（人間科学講座 〈生命倫理学〉）	戦争と医療 厚生省の誕生
3	5月13日 (水)	Ⅲ	7講	末永恵子（人間科学講座 〈生命倫理学〉）	優生 国民の人口と体力
4	5月20日 (水)	Ⅲ	7講	末永恵子（人間科学講座 〈生命倫理学〉）	戦時下の病人 ハンセン病患者
5	5月27日 (水)	Ⅲ	7講	末永恵子（人間科学講座 〈生命倫理学〉）	医療者の増産 医育機関の新設
6	6月3日 (水)	Ⅲ	7講	末永恵子（人間科学講座 〈生命倫理学〉）	医学研究と戦争（1） 医学犯罪、731部隊
7	6月10日 (水)	Ⅲ	7講	末永恵子（人間科学講座 〈生命倫理学〉）	医学研究と戦争（2） 細菌戦の爪痕
8	6月17日 (水)	Ⅲ	7講	末永恵子（人間科学講座 〈生命倫理学〉）	医学研究と戦争（3） 軍事研究と医学者
9	6月24日 (水)	Ⅲ	7講	末永恵子（人間科学講座 〈生命倫理学〉）	医学研究と戦争（4） ドイツにおける医学犯罪
10	7月1日 (水)	Ⅲ	7講	末永恵子（人間科学講座 〈生命倫理学〉）	医学研究と戦争（5） 戦争の心理
11	7月8日 (水)	Ⅲ	7講	末永恵子（人間科学講座 〈生命倫理学〉）	原爆と医療 ヒバクシャの戦後
12	7月15日 (水)	Ⅲ	7講	末永恵子（人間科学講座 〈生命倫理学〉）	冷戦と医学 戦後の軍時研究
13	7月15日 (水)	Ⅲ	7講	末永恵子（人間科学講座 〈生命倫理学〉）	アメリカ統治下の沖縄の医療 基地と健康被害
14	7月22日 (水)	Ⅱ	7講	末永恵子（人間科学講座 〈生命倫理学〉）	戦争と医療援助 自衛隊・NGO
15	7月22日	Ⅲ	7講	末永恵子（人間科学講座	総括

	(水)			〈生命倫理学〉	
--	-----	--	--	---------	--

科目・コース（ユニット）名：英語 1 A 【医学 1】

英語名称：English IA

担当責任者：Peter Bryan McCann, Paul Martin

開講年次：1 年， 学期：前期， 必修／選択：必修授業， 授業形態：演習

概要

英語 1 は、医学や生命科学などの分野で使われる英語への入門のための授業である。英語 1 A と英語 1 B を合わせて、リーディング・リスニング・スピーキング・ライティングの 4 つのスキルをバランス良く養成する。

また、英語 1 には、英語 1 A を McCann が担当し英語 1 B を田中が担当するコースと、英語 1 A と英語 1 B の両方を Martin が担当する上級者向けのコース（定員 25 名前後）がある。受講者はどちらかのコースを選択する。第 1 回目の授業をガイダンスとし、詳細はそこで説明するので必ず出席すること。ガイダンスは第 1 講義室で行う。

McCann's class:

This course will aim at giving students confidence in using English for communicating. Students will be introduced to a variety of real-life situations involving doctor-patient communication such as taking a medical history, instructing, or explaining medical procedures. Some of the differences between the European or American health systems and the Japanese one will be presented.

Martin's class:

Conducted in English, this course attempts to create an environment in which participants can develop personal strategies for speaking and writing in English about topics related to the world of medical professionals. In addition, participants will practice methods of expressing their opinions in discussion of a number of current topics of social concern.

学習目標：

McCann's class:

The course will aim at teaching the students the basic skills that are necessary to conduct medical interviews and to help them acquire terms. Upon completion of this class, students will be able to interview a presenting patient in a professional and comforting manner, as well as politely and respectfully use English to communicate a physical examination. Focus will be placed on listening comprehension and oral production. Many listening activities and speaking activities (role play and information gap activities) will be proposed during the course. Review and reinforcement of English language structures will help towards smoother and more effective communication. Emphasis will

also be placed on the acquisition of some medical terminology as well as simple and effective communication techniques necessary for smooth doctor-patient interaction. The course will be taught with use of an audio CD and will be conducted in English. Students will be asked to participate actively in the class to make the most out of the course.

Martin's class:

Students will acquire the ability and confidence to speak and write about general medical topics most relevant to medical students, especially those in their preclinical years. Students will develop the skills and confidence (mentality) so as to be able to communicate with others in English on current topics of wider relevance outside the world of medicine.

学習アウトカムと科目達成レベル表

学習アウトカム			科目達成レベル
2. 生涯教育			
医師・医学研究者として優れた洞察力と応用力を兼ね備え、医学・医療及び関連の広い分野の科学的情報を収集・評価し、論理的思考の継続的改善を行うことができる。			
2)	国際人としての基礎	① 国内外からの最新の医学情報を収集し、発信できる英語力を有し、英語によるコミュニケーションができる。	● 実践の基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
3)	自己啓発と自己鍛錬	② 独立自尊の気風を養い、自己管理・自己評価を行い、自身で責任を持って考え、行動できる。	△ 取得の機会はあるが単位認定には関係がない
7. 医学/科学の発展への貢献			
総合科学、生命科学・社会医学、臨床医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい知見を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。			
2)	福島から世界へ	① 国際的な健康問題や疾病予防について理解できる。	△ 取得の機会があるが単位認定に関係ない

垂直的統合授業の実施内容 : Scientific and medical English: Classes in the basic elements of medical interviews and other areas of communication related to medicine

水平的統合授業の実施内容 : 該当なし

本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容 : 該当なし

テキスト :

McCann's class:

English in Medicine Third Edition. Eric H. Glendinning & Beverley A.S. Holmstrom. Cambridge University Press.

Martin's class:

Because We Care, National Geographic Learning / Cengage Learning K.K. ISBN: 978-4-86312-368-7

参考書 :

McCann's class:

N/A

Martin's class:

- ・ 「英辞郎 on the WEB」 (<https://eow.alc.co.jp/>)
- ・ BASICS OF MEDICAL TERMINOLOGY Latin and Greek Origins, László Répás (https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=3&ved=2ahUKEwiq96vPj_bfAhUEu7wKHbHWAhgQFjACegQIBxAC&url=http%3A%2F%2Fwww.ilekt.med.unideb.hu%2Fkiadvany%2F4latineng.pdf&usg=AOvVaw396u1PSTFb2xlaWCpV2_mp)
- ・ Martin's website:
http://www.paul-martin-in-fukushima.com/bonkura_heights/Bonkura%20Heights.html

成績評価方法 :

McCann's class:

A written test will be given at the end of the course that will account for 60% of each student's total score. Attendance will account for 20% - students must attend a minimum of 10 of the total 15 lessons. For the final 20%, students will be assessed on their classroom participation throughout the course.

Martin's class

Attendance: 20% (In order to be awarded credits for this course, students must attend at least 20 of the 30 classes.); attitude and contribution to class morale: 20%; final examination (English IA) / assignment and coursework (English IB): 60%

その他（メッセージ等）：

McCann's class:

Please remember that active participation in class is essential in order to get the most out of it. Also, if you have any questions, please feel free to contact me at any time. Finally, the course will be conducted entirely in English.

Martin's class

In this class, it is essential that you get to know your classmates and be willing to express your opinions in front of them.

授業スケジュール／担当教員等：

McCann' class：

GROUP 1

	授業実施日	時限	場所	担当教員	授業内容
1	4月17日 (金)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Guidance (1)
2	4月17日 (金)	III	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Guidance (2)
3	4月24日 (金)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Unit 1 Taking a history 1 (Asking basic questions)
4	4月26日 (金)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Taking notes 1
5	5月08日 (金)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Taking notes 2
6	5月20日 (水)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Unit 2 Taking a history 2 (RS,CVS and GIS)

7	5月22日 (金)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Asking about systems 1
8	5月29日 (金)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Asking about systems 2
9	6月03日 (水)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Asking about symptoms 1
10	6月05日 (金)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Asking about symptoms 2
11	6月12日 (金)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Unit 3 Examining a patient (Giving instructions 1)
12	6月17日 (水)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Giving instructions 2
13	6月19日 (金)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Understanding forms 1
14	7月03日 (金)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Understanding forms 2
15	7月10日 (金)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Understanding forms 3
16	7月17日 (金)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	COURSE REVIEW

GROUP 2

	授業実施日	時限	場所	担当教員	授業内容
1	4月17日 (金)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Guidance (1)
2	4月17日 (金)	III	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Guidance (2)
3	4月24日 (金)	III	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Unit 1 Taking a history 1 (Asking basic questions)

4	5月01日 (金)	III	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Taking notes 1
5	5月08日 (金)	III	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Taking notes 2
6	5月22日 (金)	III	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Unit 2 Taking a history 2 (RS, CVS and GIS)
7	5月27日 (水)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Asking about systems 1
8	5月29日 (金)	III	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Asking about systems 2
9	6月05日 (金)	III	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Asking about symptoms 1
10	6月10日 (水)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Asking about symptoms 2
11	6月12日 (金)	III	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Unit 3 Examining a patient (Giving instructions 1)
12	6月19日 (金)	III	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Giving instructions 2
13	6月24日 (水)	II	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Understanding forms 1
14	7月03日 (金)	III	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Understanding forms 2
15	7月10日 (金)	III	第1講 義室	Peter Bryan McCann	Understanding forms 3
16	7月17日 (金)	III	第1講 義室	Peter Bryan McCann	COURSE REVIEW

Martin's class :

	授業実施	時限	場所	担当教員	授業内容
1	4月17日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Orientation
2	4月17日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Interviews
3	4月24日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Getting to know each other
4	4月24日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Getting to know each other
5	5月01日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Introduction Hospital Floors and Healthcare Professionals (1)
6	5月01日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	<ul style="list-style-type: none"> • “What I do to maintain a healthy diet” Instructions for first assignment • Textbook: Introduction Hospital Floors and Healthcare Professionals (2)
7	5月08日 (金)	II	第7講 義室	Paul Martin	Textbook: Unit 1: Body Parts (1)
8	5月08日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Unit 1: Body Parts (2)
9	5月20日 (水)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Discussion of the PROS and CONS of Topic ONE Reading an article or dialog on a topical issue, followed by group discussion
10	5月22日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Class presentations: What I do to maintain a healthy diet (session 1)
11	5月22日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Unit 2: Musculoskeletal System (1)
12	5月27日 (水)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Discussion of the PROS and CONS of Topic TWO Reading an article or dialog on a topical issue, followed by group discussion
13	5月29日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Class presentations: What I do to maintain a healthy diet (session 2)

14	5月29日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Unit 2: Musculoskeletal System (2)
15	6月03日 (水)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Discussion of the PROS and CONS of Topic THREE Reading an article or dialog on a topical issue, followed by group discussion
16	6月05日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Class presentations: What I do to maintain a healthy diet (session 3)
17	6月05日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Unit 3: Cardiovascular System (1)
18	6月10日 (水)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Discussion of the PROS and CONS of Topic FOUR Reading an article or dialog on a topical issue, followed by group discussion
19	6月12日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Class presentations: What I do to maintain a healthy diet (session 4)
20	6月12日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Unit 3: Cardiovascular System (2)
21	6月17日 (水)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Discussion of the PROS and CONS of Topic FIVE Reading an article or dialog on a topical issue, followed by group discussion
22	6月19日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Class presentations: What I do to maintain a healthy diet (session 5)
23	6月19日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Unit 4: Respiratory System (1)
24	6月24日 (水)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Discussion of the PROS and CONS of Topic SIX Reading an article or dialog on a topical issue, followed by group discussion
25	7月03日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Unit 4: Respiratory System (2)
26	7月03日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	What's on my mind: free writing exercise and spontaneous presentation

27	7月10日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Review of medical vocabulary (Units 1 – 4)
28	7月10日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	What's on my mind: free writing exercise and spontaneous presentation with OHP
29	7月17日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Adjustment and review
30	7月17日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Examination

科目・コース（ユニット）名：英語 1 B 【医学 1】

英語名称：English 1B

担当責任者：田中明夫, Paul Martin

開講年次：1年, 学期：前期, 必修／選択：必修, 授業形態：演習

概要：

英語 1 は、医学や生命科学などの分野で使われる英語への入門のための授業である。英語 1 A と英語 1 B を合わせて、リーディング・リスニング・スピーキング・ライティングの 4 つのスキルをバランス良く養成する。

また、英語 1 には、英語 1 A を McCann が担当し英語 1 B を田中が担当するコースと、英語 1 A と英語 1 B の両方を Martin が担当する上級者向けのコース（定員 25 名前後）がある。受講者はどちらかのコースを選択する。第 1 回目の授業をガイダンスとし、詳細はそこで説明するので必ず出席すること。ガイダンスは第 1 講義室で行う。

田中担当クラス：

海外のメディアで扱われた医学・生命科学に関するニュースのうち、比較的易しい英語が用いられているものを教材として取り上げ、リスニングやリーディング、シャドーイングを通して、医学や生命科学で使われる英語の基礎的事項や医学用語を学ぶ。

Martin's class:

Conducted in English, this course attempts to create an environment in which participants can develop personal strategies for speaking and writing in English about topics related to the world of medical professionals. In addition, participants will practice methods of expressing their opinions in discussion of a number of current topics of social concern.

学習目標：

田中担当クラス

- ① 医学や生命科学に関するニュースを聞き、概要を捉えることができる。
- ② 医学や生命科学に関して書かれた英文を正確に読み取ることができる。
- ③ 医学や生命科学で用いられる基本的表現や語彙を正確に理解することができる。
- ④ 医学や生命科学で用いられる基本的語彙を正確に発音することができる。
- ⑤ 英文を正しいイントネーション、ストレス、ピッチで発音することができる。

Martin's class:

Students will acquire the ability and confidence to speak and write about general medical topics

most relevant to medical students, especially those in their preclinical years. Students will develop the skills and confidence (mentality) so as to be able to communicate with others in English on current topics of wider relevance outside the world of medicine.

コンピテンス達成レベル：

学習アウトカムと科目達成レベル表

学習アウトカム			科目達成レベル
2. 生涯教育			
医師・医学研究者として優れた洞察力と応用力を兼ね備え、医学・医療及び関連の広い分野の科学的情報を収集・評価し、論理的思考の継続的改善を行うことができる。			
1)	科学的情報の収集・評価・管理	①	<p>情報を、目的に合わせて効率的に入手することができ、評価することができる科学的基礎知識を身につける。</p> <p style="text-align: center;">△</p> <p>修得の機会があるが、単位認定に関係ない</p>
2)	国際人としての基礎	①	<p>国内外からの最新の医学情報を収集し、発信できる英語力を有し、英語によるコミュニケーションができる。</p> <p style="text-align: center;">●</p> <p>実践の基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である</p>
3)	自己啓発と自己鍛錬	①	<p>医学・医療の発展、人類の福祉に貢献することの重要性を理解できる。</p> <p style="text-align: center;">△</p>
		②	<p>独立自尊の気風を養い、自己管理・自己評価を行い、自身で責任を持って考え、行動できる。</p> <p style="text-align: center;">△</p>
		③	<p>自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習（自身の疑問や知識・技能不足を認識し、自ら必要な学習）により、常に自己の向上を図ることができる。</p> <p style="text-align: center;">△</p>
			修得の機会があるが、単位認定に関係ない

3. コミュニケーション					
患者やその家族と、また医療従事者との間で、他者を理解し、互いの立場を尊重した関係を構築し、コミュニケーションをとることができる。					
1)	患者や家族に対するコミュニケーション	①	医師としてふさわしい、社会性やコミュニケーションスキルを身につける。	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない
		②	患者や患者家族の人種・民族、家庭的・社会的背景を理解して尊重することができる。	△	
7. 医学/科学の発展への貢献					
総合科学、生命科学・社会医学、臨床医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい知見を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。					
1)	科学的思考と研究	①	医学や医療の現場からリサーチ・クエスチョンを生み出す科学的思考ができる。	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない
2)	福島から世界へ	①	国際的な健康問題や疾病予防について理解できる。	△	

垂直的統合授業の実施内容：英語1から英語5で学ぶ医学英語・科学英語におけるリーディングとリスニングを通じた基礎的語彙と表現の授業

水平的統合授業の実施内容：該当なし

本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容：該当なし

テキスト：

田中担当クラス：

随時配布する。

Martin's class:

Because We Care, National Geographic Learning / Cengage Learning K.K. ISBN: 978-4-86312-368-7

参考書：

田中担当クラス：

『ウィズダム英和辞典』三省堂

『リーダーズ英和辞典』研究社

『ジーニアス英和辞典』大修館書店

Longman Dictionary of Contemporary English. Pearson Longman

Oxford Advanced Learner's Dictionary. Oxford University Press

Martin's class:

・「英辞郎 on the WEB」(<https://eow.alc.co.jp/>)

・BASICS OF MEDICAL TERMINOLOGY Latin and Greek Origins, László Répás
(https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=3&ved=2ahUKEwiq96vPj_bfAhUEu7wKHbHWAhgQFjACegQIBxAC&url=http%3A%2F%2Fwww.ilekt.med.unideb.hu%2Fkiadvany%2F4latineng.pdf&usg=AOvVaw396u1PSTFb2xlaWCpV2_mp)

・Martin's website:

http://www.paul-martin-in-fukushima.com/bonkura_heights/Bonkura%20Heights.html

成績評価方法：

田中担当クラス：

小テスト（30%）、及び、期末試験と授業への参加度・貢献度（70%）を総合して評価します。なお、出席が授業回数の3分の2に満たない場合は、期末試験の受験を認めないので注意してください。

Martin's class:

Attendance: 20% (In order to be awarded credits for this course, students must attend at least 20 of the 30 classes.); attitude and contribution to class morale: 20%; final examination (English IA) / assignment and coursework (English IB): 60%

その他（メッセージ等）：

田中担当クラス：

必ず十分に準備をしてから授業に臨み、積極的に発言し、練習に取り組んでください。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。

Martin's class:

In this class, it is essential that you get to know your classmates and be willing to express your opinions in front of them.

授業スケジュール／担当教員等：

田中担当クラス；

グループ 1

	授業実施日	時限	場所	担当教員	授業内容
1	4月17日 (金)	II	第1講 義室	田中明夫・Paul Martin・Peter McCann	ガイダンス(1)
2	4月17日 (金)	III	第1講 義室	田中明夫・Paul Martin・Peter McCann	ガイダンス(2)
3	4月24日 (金)	III	LL教 室	田中明夫	シャドーイングの基礎(1)
4	5月01日 (金)	III	LL教 室	田中明夫	シャドーイングの基礎(2)
5	5月08日 (金)	III	LL教 室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(1)
6	5月22日 (金)	III	LL教 室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(2)
7	5月27日 (水)	II	LL教 室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(3)
8	5月29日 (金)	III	LL教 室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(4)
9	6月05日 (金)	III	LL教 室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(5)
10	6月10日 (水)	II	LL教 室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(6)
11	6月12日 (金)	III	LL教 室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(7)

12	6月19日 (金)	III	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(8)
13	6月24日 (水)	II	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(9)
14	7月03日 (金)	III	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(10)
15	7月10日 (金)	III	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(11)
16	7月17日 (金)	III	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(12)

グループ2

	授業実施日	時限	場所	担当教員	授業内容
1	4月17日 (金)	II	第1講 義室	田中明夫・Paul Martin・Peter McCann	ガイダンス(1)
2	4月17日 (金)	III	第1講 義室	田中明夫・Paul Martin・Peter McCann	ガイダンス(2)
3	4月24日 (金)	II	LL教室	田中明夫	シャドーイングの基礎(1)
4	4月26日 (金)	II	LL教室	田中明夫	シャドーイングの基礎(2)
5	5月08日 (金)	II	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(1)
6	5月20日 (水)	II	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(2)
7	5月22日 (金)	II	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(3)
8	5月29日 (金)	II	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(4)
9	6月03日 (水)	II	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(5)
10	6月05日 (金)	II	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(6)
11	6月12日 (金)	II	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(7)

12	6月17日 (水)	II	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(8)
13	6月19日 (金)	II	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(9)
14	7月03日 (金)	II	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(10)
15	7月10日 (金)	II	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(11)
16	7月17日 (金)	II	LL教室	田中明夫	医学・生命科学に関するニュース(12)

Martin's class

	授業実施	時限	場所	担当教員	授業内容
1	4月17日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Orientation
2	4月17日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Interviews
3	4月24日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Getting to know each other
4	4月24日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Getting to know each other
5	5月01日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Introduction Hospital Floors and Healthcare Professionals (1)
6	5月01日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	<ul style="list-style-type: none"> • “What I do to maintain a healthy diet” Instructions for first assignment • Textbook: Introduction Hospital Floors and Healthcare Professionals (2)
7	5月08日 (金)	II	第7講 義室	Paul Martin	Textbook: Unit 1: Body Parts (1)
8	5月08日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Unit 1: Body Parts (2)

9	5月20日 (水)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Discussion of the PROS and CONS of Topic ONE Reading an article or dialog on a topical issue, followed by group discussion
10	5月22日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Class presentations: What I do to maintain a healthy diet (session 1)
11	5月22日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Unit 2: Musculoskeletal System (1)
12	5月27日 (水)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Discussion of the PROS and CONS of Topic TWO Reading an article or dialog on a topical issue, followed by group discussion
13	5月29日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Class presentations: What I do to maintain a healthy diet (session 2)
14	5月29日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Unit 2: Musculoskeletal System (2)
15	6月03日 (水)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Discussion of the PROS and CONS of Topic THREE Reading an article or dialog on a topical issue, followed by group discussion
16	6月05日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Class presentations: What I do to maintain a healthy diet (session 3)
17	6月05日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Unit 3: Cardiovascular System (1)
18	6月10日 (水)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Discussion of the PROS and CONS of Topic FOUR Reading an article or dialog on a topical issue, followed by group discussion
19	6月12日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Class presentations: What I do to maintain a healthy diet (session 4)
20	6月12日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Unit 3: Cardiovascular System (2)
21	6月17日 (水)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Discussion of the PROS and CONS of Topic FIVE Reading an article or dialog on a topical issue, followed by group discussion

22	6月19日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Class presentations: What I do to maintain a healthy diet (session 5)
23	6月19日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Unit 4: Respiratory System (1)
24	6月24日 (水)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Discussion of the PROS and CONS of Topic SIX Reading an article or dialog on a topical issue, followed by group discussion
25	7月03日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Textbook: Unit 4: Respiratory System (2)
26	7月03日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	What's on my mind: free writing exercise and spontaneous presentation
27	7月10日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Review of medical vocabulary (Units 1 – 4)
28	7月10日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	What's on my mind: free writing exercise and spontaneous presentation with OHP
29	7月17日 (金)	II	第7講 義室	Paul MARTIN	Adjustment and review
30	7月17日 (金)	III	第7講 義室	Paul MARTIN	Examination

科目・コース（ユニット）名：ドイツ語Ⅰ 【医学Ⅰ】

英語名称：German 1

担当責任者：齊藤 寛

開講年次：1年 ， 学期：前期 ， 必修／選択：選択必修 ， 授業形態：演習

概要：

ドイツ語の基本的な枠組みを学び、読んだり会話をしたりする。その多くは、グループ学習やパートナー練習を通して行われる。また、ドイツ語圏の文化や社会について知見を広める。その際に比較的多くの映像にふれる。

学習目標：

ドイツ語が正しく発音でき、基本的な文法や文章が理解できる。また、それをもとにしてある程度のドイツ語会話ができる。また、ドイツ語圏の文化や社会観や諸習慣についての理解を深めるとともに、この面での日独の異同に対する認識を高める。

コンピテンス達成レベル：

学習アウトカムと科目達成レベル表

学習アウトカム				科目達成レベル	
2. 生涯教育					
医師・医学研究者として優れた洞察力と応用力を兼ね備え、医学・医療及び関連の広い分野の科学的情報を収集・評価し、論理的思考の継続的改善を行うことができる。					
2)	国際人としての基礎	②	英語以外の外国語の学習を通じて、異文化を知るための情報の入手、異文化の理解ができる。	●	実践の基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
3)	自己啓発と自己鍛錬	②	独立自尊の気風を養い、自己管理・自己評価を行い、自身で責任を持って考え、行動できる。	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない
3. コミュニケーション					

患者やその家族と、また医療従事者との間で、他者を理解し、互いの立場を尊重した関係を構築し、コミュニケーションをとることができる。					
1)	患者や家族に対するコミュニケーション	①	医師としてふさわしい、社会性やコミュニケーションスキルを身につける。	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない
		②	患者や患者家族の人種・民族、家庭的・社会的背景を理解して尊重することができる。	△	

テキスト：前田良三・他『ドイツ語ナビゲーション 2.0』（朝日出版社）、2500 円（税別）
大学のブックセンターで購入すること。

参考書：指定なし。

成績評価方法：出欠・遅刻状況、授業中の態度——特にグループ学習やパートナー練習に積極的に参加して良い成果をあげたかどうか、宿題や予習復習をよくやっているかどうか、期末試験などを総合して評価する。

その他（メッセージ等）：1 時限目の授業なので、遅刻しないよう特に注意すること。授業中、スマホなどを見ないこと。

授業スケジュール／担当教員等：すべて齊藤寛が下記のスケジュールで授業を行うが、テキストの他に補助教材も用いる。なお、スケジュールは学習者全員の習得状況に応じて変更される可能性がある。

授業スケジュール

	授業実施日	時限	場所	授 業 内 容
1	4 月 15 日 (水)	1		ガイダンス
2	4 月 22 日 (水)	1	S 310	ドイツ語と英語の関係、ドイツ語での自己紹介
3	5 月 13 日 (水)	1	S 310	出会いⅠ 動詞の現在人称変化、会話
4	5 月 13 日 (水)	2	S 310	出会いⅡ sein, haben の現在人称変化
5	5 月 20 日 (水)	1	S 310	ケルンでの散策Ⅰ 名詞の性と格、会話
6	5 月 27 日 (水)	1	S 310	ケルンでの散策Ⅱ 冠詞、会話
7	6 月 3 日	1	S 310	ケルンでの散策Ⅲ 名詞の複数形、読み物

	(水)			
8	6月10日 (水)	1	S 310	デュッセルドルフでⅠ 不規則動詞、会話
9	6月17日 (水)	1	S 310	デュッセルドルフでⅡ 人称代名詞、会話
10	6月24日 (水)	1	S 310	ベルリンへの研修旅行Ⅰ 定冠詞類、会話
11	7月1日 (水)	1	S 310	ベルリンへの研修旅行Ⅱ 不定冠詞類、会話
12	7月8日 (水)	1	S 310	ベルリンへの研修旅行Ⅲ 否定冠詞、読み物
13	7月8日 (水)	2	S 310	めぐみのある日Ⅰ 前置詞の格支配、会話
14	7月15日 (水)	1	S 310	めぐみのある日Ⅱ 動詞・形容詞と前置詞
15	7月22日 (水)	1	S 310	前期のまとめ、期末試験ガイダンス

科目・コース（ユニット）名： フランス語 I 【医学 1】

英語名称： French 1

担当責任者： 清田 彩子

開講年次： 1年, 学期：前期, 必修／選択：選択必修, 授業形態：演習

概要：

フランス語を初めて学ぶ人を対象とする入門講座です。フランス語の基礎文法をしっかりと学び、正しく文が書けるようにします。また簡単なコミュニケーションができる会話も学びます。目標は仏検 4 級レベルです。将来フランス語を学び直そうと思った時にも役立ちます。

学習目標：

《一般目標》

- ・基礎文法を学び簡単な文章を書く能力を身につける。
- ・基本的な単語や構文を使った基礎会話を身につける。
- ・音読やリスニングを通して正しい発音を身につける。

《行動目標》

- ・基礎文法を理解し語彙を習得し、基礎会話ができるようになる。
- ・演習、小テスト、課題などに積極的に取り組むことができる。

コンピテンス達成レベル：

学習アウトカムと科目達成レベル表

学習アウトカム			科目達成レベル
2. 生涯教育			
医師・医学研究者として優れた洞察力と応用力を兼ね備え、医学・医療及び関連の広い分野の科学的情報を収集・評価し、論理的思考の継続的改善を行うことができる。			
2)	国際人としての基礎	②	英語以外の外国語の学習を通じて、異文化を知るための情報の入手、異文化の理解ができる。
			● 実践の基礎となる知識を示せることが単位認定の

					要件である
3)	自己啓発と自己鍛錬	②	独立自尊の気風を養い、自己管理・自己評価を行い、自身で責任を持って考え、行動できる。	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない
3. コミュニケーション					
患者やその家族と、また医療従事者との間で、他者を理解し、互いの立場を尊重した関係を構築し、コミュニケーションをとることが出来る。					
1)	患者や家族に対するコミュニケーション	①	医師としてふさわしい、社会性やコミュニケーションスキルを身につける。	△	修得の機会があるが、単位認定に関係ない

垂直的統合授業の実施内容:該当なし

水平的統合授業の実施内容:該当なし

本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容:該当なし

テキスト:伊藤玄吾、他 『アクティブに学ぶ フランス語文法』 (アルマ出版)

本体価格 2,500 円(税抜)

参考書: 辞書は「Dico」(白水社)、「ロワイヤル仏和中辞典」(旺文社)を勧めるが、購入は自由。

成績評価方法: 出席状況、授業参加態度、小テスト、課題、期末試験などを総合して評価する。

その他(メッセージ等): 1回でも休むとついていくのが困難になります。遅刻、欠席をしないようにしてください。やむを得ない事情で遅刻、欠席をした場合は必ず自習をし、わからないところは聞いてください。また定着のために復習(宿題)は欠かさないようにしてください。

下記スケジュールは習得状況によって変更されることがあります。

授業スケジュール／担当教員等：

	授業実施 日	時限	場所	担当教員	授業内容
1	4月15日	1	第1講義室	清田彩子	ガイダンス
2	4月22日	1	第1講義室	清田彩子	フランス語の発音の特徴、アルファベ、 挨拶
3	5月13日	1	第1講義室	清田彩子	国籍、職業、出身、学部を尋ね、それに こたえる
4	5月13日	2	第1講義室	清田彩子	文法
5	5月20日	1	第1講義室	清田彩子	住んでいるところや出身地を話す
6	5月27日	1	第1講義室	清田彩子	文法
7	6月3日	1	第1講義室	清田彩子	アルバイトなどについて話す
8	6月10日	1	第1講義室	清田彩子	文法
9	6月17日	1	第1講義室	清田彩子	好きなものについて話す
10	6月24日	1	第1講義室	清田彩子	文法
11	7月1日	1	第1講義室	清田彩子	家族について話す1
12	7月8日	1	第1講義室	清田彩子	文法
13	7月8日	2	第1講義室	清田彩子	家族について話す2
14	7月15日	1	第1講義室	清田彩子	文法
15	7月22日	1	第1講義室	清田彩子	前期のまとめ

科目・コース（ユニット）名：中国語 I

英語名称：Chinese 1

担当責任者：池澤 真澄

開講年次：1年 ， 学期：前期 ， 必修／選択：選択必修 ， 授業形態：演習

概要：

中国語は漢字で表記される言語であり、そのせいか日本人には自分にもできそうだという自信を持たせてしまう外国語です。敷居が高くなく取っ付き易いのですが、発音においては至難の業のようです。中国語の発音を表すピンインという独特の文字システムを理解し、異文化リテラシーを養うと同時に、中国の文化・社会に対する理解を深める。

学習目標：

初級の語彙・語法をふまえ、日常場面の表現ができる。

特に数字がからむ時刻や時間量、曜日などの表現ができる。

短文をナチュラルスピードで話すことができる。

コンピテンス達成レベル：

学習アウトカムと科目達成レベル表

学習アウトカム			科目達成レベル	
2. 生涯教育				
医師・医学研究者として優れた洞察力と応用力を兼ね備え、医学・医療及び関連の広い分野の科学的情報を収集・評価し、論理的思考の継続的改善を行うことができる。				
2)	国際人としての基礎	①	国内外からの最新の医学情報を収集し、発信できる英語力を有し、英語によるコミュニケーションができる。	
		②	英語以外の外国語の学習を通じて、異文化を知るための情報の入手、異文化の理解ができる。	● 実践の基礎となる知識を示せることが単位認定の要件である

3)	自己啓発 と自己鍛 錬	①	医学・医療の発展、人類の福祉に貢献することの重要性を理解できる。		
		②	独立自尊の気風を養い、自己管理・自己評価を行い、自身で責任を持って考え、行動できる。		
		③	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習（自身の疑問や知識・技能不足を認識し、自ら必要な学習）により、常に自己の向上を図ることができる。	△	習得の機会があるが、単位認定に関係ない
7. 医学/科学の発展への貢献					
総合科学、生命科学・社会医学、臨床医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい知見を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。					
2)	福島から 世界へ	①	国際的な健康問題や疾病予防について理解できる。	△	習得の機会があるが、単位認定に関係ない
		②	福島の特徴から生じる医療上の問題点を、科学的・論理的に思考することができる。		

垂直的統合授業の実施内容：該当なし

水平的統合授業の実施内容：該当なし

本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容：該当なし

テキスト：『メディカル初級実践中国語』王宇南・王美蘭 共著
朝日出版社 2,200円（税別）

参考書：日中・中日辞書、アプリなどを活用すると便利です。

成績評価方法：出席状況（「医学部履修規程」に基づく）・平常点・レポート・小テスト・定期試験を総合して評価します。また、受講マナーも重視。

その他（メッセージ等）：外国語学習は地道な努力が習得の基本です。特に発音は外国語習

得のかなめです。これには繰り返し練習で慣れる以外に良い方法はありません。自分で実際に声を出して発音することが特に大切です。授業への積極的な参加を期待します。

授業スケジュール／担当教員等：

	授業実施日	時 限	場所	担当教員	授業内容
1	4月15日(水)	I	第7講義室	池澤 真澄	ガイダンス
2	4月22日(水)	I	〃	〃	声調と単母音
3	5月13日(水)	I	〃	〃	複母音
4	5月13日(水)	II	〃	〃	子音
5	5月20日(水)	I	〃	〃	鼻母音・r化
6	5月27日(水)	I	〃	〃	人称代名詞
7	6月3日(水)	I	〃	〃	助詞
8	6月10日(水)	I	〃	〃	動詞述語文
9	6月17日(水)	I	〃	〃	発音確認小テスト
10	6月24日(水)	I	〃	〃	連動文
11	7月1日(水)	I	〃	〃	量詞
12	7月8日(水)	I	〃	〃	形容詞述語文
13	7月8日(水)	II	〃	〃	方位詞
14	7月15日(水)	I	〃	〃	前置詞
15	7月22日(水)	I	〃	〃	時刻・時間量